

# データヘルス計画

## 第3期計画書

---

最終更新日：令和6年06月11日

東京文具工業健康保険組合

# STEP 1-1 基本情報

組合コード	24517
組合名称	東京文具工業健康保険組合
形態	総合
業種	その他の製造業

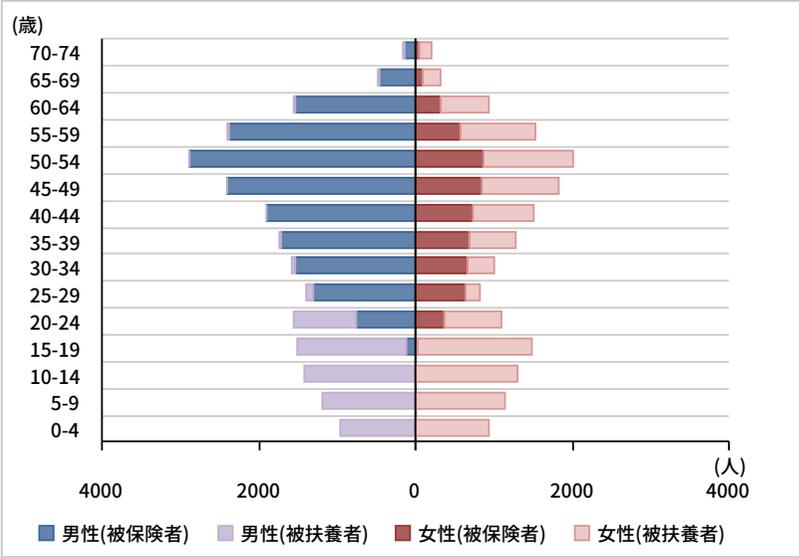
	令和6年度見込み	令和7年度見込み	令和8年度見込み
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保険者を除く	22,900名 男性76.0% (平均年齢45.6歳) * 女性24.0% (平均年齢42.6歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *
特例退職被保険者数	0名	-名	-名
加入者数	40,400名	-名	-名
適用事業所数	270カ所	-カ所	-カ所
対象となる拠点数	400カ所	-カ所	-カ所
保険料率 *調整を含む	99.95%o	-%o	-%o

		健康保険組合と事業主側の医療専門職					
		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
健保組合	顧問医	0	0	-	-	-	-
	保健師等	1	0	-	-	-	-
事業主	産業医	0	0	-	-	-	-
	保健師等	0	0	-	-	-	-

		第3期における基礎数値 (令和4年度の実績値)	
特定健康診査実施率 (特定健康診査実施者数÷ 特定健康診査対象者数)	全体	16,836 / 19,767 = 85.2 %	
	被保険者	13,854 / 16,836 = 82.3 %	
	被扶養者	2,982 / 16,836 = 17.7 %	
特定保健指導実施率 (特定保健指導実施者数÷ 特定保健指導対象者数)	全体	189 / 3,519 = 5.4 %	
	被保険者	172 / 3,225 = 5.3 %	
	被扶養者	17 / 294 = 5.8 %	

		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査事業費	116,534	5,089	-	-	-	-
	特定保健指導事業費	10,100	441	-	-	-	-
	保健指導宣伝費	32,109	1,402	-	-	-	-
	疾病予防費	396,314	17,306	-	-	-	-
	体育奨励費	0	0	-	-	-	-
	直営保養所費	49,816	2,175	-	-	-	-
	その他	26,728	1,167	-	-	-	-
	小計 …a	631,601	27,581	0	-	0	-
経常支出合計 …b	14,714,545	642,557	-	-	-	-	
a/b×100 (%)	4.29		-	-	-	-	

令和6年度見込み



令和7年度見込み



令和8年度見込み



## 男性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	105人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	747人	25～29	1,294人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	1,538人	35～39	1,715人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	1,898人	45～49	2,402人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	2,884人	55～59	2,385人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	1,539人	65～69	450人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	145人			70～74	-人			70～74	-人		

## 女性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	33人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	366人	25～29	647人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	658人	35～39	676人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	739人	45～49	851人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	868人	55～59	563人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	318人	65～69	95人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	41人			70～74	-人			70～74	-人		

## 男性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	955人	5～9	1,191人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	1,417人	15～19	1,400人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	805人	25～29	83人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	38人	35～39	19人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	9人	45～49	11人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	10人	55～59	13人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	21人	65～69	14人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	28人			70～74	-人			70～74	-人		

## 女性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	931人	5～9	1,151人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	1,306人	15～19	1,456人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	730人	25～29	189人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	334人	35～39	602人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	766人	45～49	987人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	1,150人	55～59	959人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	610人	65～69	228人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	169人			70～74	-人			70～74	-人		

### 基本情報から見える特徴

- ・対象となる拠点数(400カ所)については、事業所数が多く完全には把握できないため、概数とする。
- ・加入者情報グラフの人数は、令和6年1月末現在の人数である。
- ・事業主側の医療専門職については、加入事業所数が多いため不明である。

## STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

### 保健事業の整理から見える特徴

当組合では、組合員の健康保持増進および将来医療費の削減を目指し、当組合の実情に合った効率・効果の高い保健事業を実施している。全被保険者への機関誌（年4回）の配付やホームページ等による、情報提供事業や各種健診の実施による疾病予防事業を行っている。

### 事業の一覧

職場環境の整備	
保健指導宣伝	健康管理委員会
加入者への意識づけ	
保健指導宣伝	機関誌・ホームページによる健康啓発、健康情報、健保情報の提供
個別の事業	
特定健康診査事業	特定健診
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	健康管理事業推進委員会
保健指導宣伝	医療費通知発行
保健指導宣伝	ジェネリック医薬品軽減額通知の発行
保健指導宣伝	生活習慣病重症化予防
保健指導宣伝	健診未受診者通知の発送
疾病予防	簡易生活習慣病健診
疾病予防	生活習慣病健診
疾病予防	人間ドック
疾病予防	婦人生活習慣病健診
疾病予防	メンタルヘルス相談
疾病予防	インフルエンザ予防接種補助
疾病予防	歯科健診
直営保養所	保養所
その他	契約旅館
その他	固定施設
事業主の取組	
1	健康診断
2	保健指導

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1)事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2)評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
職場環境の整備												
保健指導宣伝	5	健康管理委員会	・健康啓発他。	全て	男女	18～74	加入者全員	--	-	-	-	-
加入者への意識づけ												
保健指導宣伝	2	機関誌・ホームページによる健康啓発、健康情報、健保情報の提供	・健康啓発、健康情報、健保情報の提供。	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	--	-	-	-	-
個別の事業												
特定健康診査事業	2,3	特定健診	被扶養者の特定健康診査の実施率を60%以上とする。	全て	男女	40～74	基準該当者	--	-	-	-	-
特定保健指導事業	2,4	特定保健指導	・特定保健指導の実施率を平成35年度までに30%にする。	全て	男女	40～74	基準該当者	--	-	-	-	-
保健指導宣伝	1,2,8	健康管理事業推進委員会	・保健事業全般についての説明、健診結果報告をしたうえで、課題等を推進委員6名および管理栄養士、事務局6名で意見交換することにより、今後の保健事業を実施していくうえで役立てる。	一部の事業所	男女	18～74	基準該当者	--	-	-	-	-
	2	医療費通知発行	・治療等にかかった医療費を知らせることで、加入員にも不正請求等のチェックをしてもらう。	全て	男女	0～74	加入者全員	--	-	-	-	-
	2,7	ジェネリック医薬品軽減額通知の発行	・ジェネリック医薬品の利用率の向上(50%以上)	全て	男女	0～74	加入者全員	--	-	-	-	-
	2,4	生活習慣病重症化予防	・受診勧奨該当者に受診勧奨通知を送付することにより、未受診者を受診へ導く。 ・受診勧奨通知者の追跡調査を行う。	全て	男女	18～74	基準該当者	--	-	-	-	-
	4	健診未受診者通知の発送	健診受診率の向上。	全て	男女	18～74	基準該当者	--	-	-	-	-
疾病予防	2,3	簡易生活習慣病健診	・被扶養者の受診率50%以上。	全て	男女	18～34	基準該当者	--	-	-	-	-

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者			事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢		対象者	実施状況・時期	成功・推進要因	
	2,3	生活習慣病健診	・受診率70%以上	全て	男女	35～74	基準該当者	-	-	-	-
	2,3	人間ドック	・受診率10%以上	全て	男女	35～74	基準該当者	-	-	-	-
	2,3	婦人生活習慣病健診	・被扶養者の受診率の向上。	全て	女性	35～74	基準該当者	-	-	-	-
	6	メンタルヘルス相談	・原則無料で通年実施しているので、メンタル不調者は相談していただきたい。	全て	男女	0～74	加入者全員	-	-	-	-
	2,8	インフルエンザ予防接種補助	・接種率の向上(40%以上)	全て	男女	0～74	加入者全員	-	-	-	-
	3	歯科健診	受診率の向上。	全て	男女	0～74	加入者全員	-	-	-	-
直営保養所	8	保養所	健保財政悪化のため、平成30年度中に1カ所を閉鎖。	全て	男女	0～74	加入者全員	-	-	-	-
その他	8	契約旅館	・組合員の親睦保養増進。	全て	男女	18～74	加入者全員	-	-	-	-
	8	固定施設	・当健保会館の空き会議室3カ所の貸出し。	全て	男女	18～(上限なし)	加入者全員	-	-	-	-

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 1. 39%以下 2. 40%以上 3. 60%以上 4. 80%以上 5. 100%

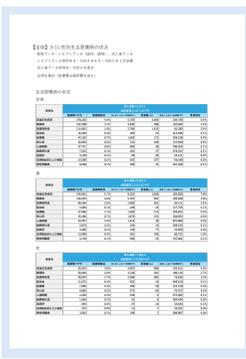
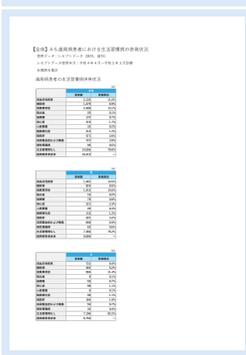
事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同 実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
事業主の取組								
健康診断	労安衛法に基づく健診	-	-	-	不明	-	-	-
保健指導	所見のあった者に対する保健指導	-	-	-	不明	-	-	-

# STEP 1-3 基本分析

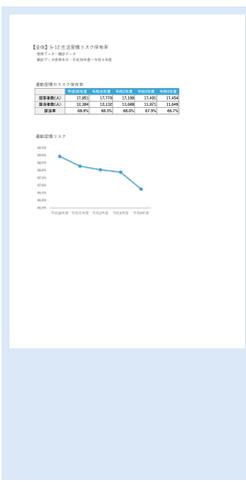
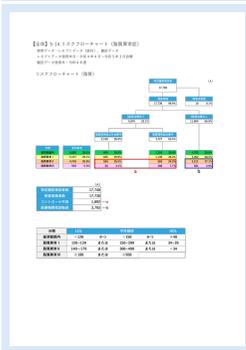
## 登録済みファイル一覧

記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア		1-1.年齢階級別加入数の経年推移	加入者構成の分析	加入者数は年々減少しており、被保険者より被扶養者の減少率が大きい。年少（15歳未満）、生産年齢（15-39歳）が減少しており、生産年齢（40-64歳）、前期高齢者（65歳以上）は年度で増減があるものの減少傾向にある。被保険者に占める前期高齢者の割合は、令和2年度を除き増加傾向である。
イ		1-2.性別・年齢階級別加入者数の状況	加入者構成の分析	男性が女性の約1.3倍で、40歳以上は全体の約半数、被保険者では約7割を占める。被保険者は男性が女性の約3倍多く、被扶養者は女性が男性の約2倍多い。被保険者は、男性では40-59歳が多く、女性では25-54歳が多い。被扶養者は0-24歳までで約6割を占め、25歳以上では約8割が女性である。40歳以上のほとんどは女性が占める。
ウ		2-1.医療費の経年推移	医療費・患者数分析	総医療費及び1人当たり医療費とも、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け大きく減少したが、それ以降増加に転じ、令和元年度を超えている。1人当たり医療費は、被保険者より被扶養者が高く、被保険者、被扶養者とも令和2年度以降増加している。

工		2-3.性別・年齢階級別加入者 1人当たり医療費	医療費・患者数分析	<p>令和4年度の1人当たり医療費は30代前半以降増加し、50代前半から20万円を超えている。特に65歳以上の増加幅が大きく、70歳以上では50万円を超えている。0-4歳、15-19歳、25-29歳、55-59歳、65-69歳を除き、男性より女性のほうが高い。</p> <p>被保険者は加齢とともに増加しており、30代後半から10万円を超え、50代後半から20万円を超えている。特に70歳以上の女性が60万円を超えている。</p> <p>被扶養者は0-4歳、20代後半、50代以上で20万円を超えている。特に20代後半の男性では100万円を超えており、30代後半から40代前半、60代前半の男性が高く、70歳以上は男女とも50万円を超えている。</p>
才		3-1.疾病大分類別・入外別医療費の状況	医療費・患者数分析	<p>入院では循環器系、新生物、消化器系、筋骨格系が多く、入院外では呼吸器系、内分泌・代謝、循環器系、新生物が多い。被保険者では循環器系、新生物、消化器系の占める割合が高く、被扶養者では呼吸器系、内分泌・代謝系、新生物の占める割合が高い。</p>
力		3-2.疾病大分類別加入者 1人当たり医療費の年度推移（上位10位）	医療費・患者数分析	<p>被保険者では、循環器系、新生物が高く、令和4年度は循環器系、新生物は減少しているが、消化器系、内分泌・代謝は増加傾向である。</p> <p>被扶養者では、呼吸器系、内分泌・代謝、新生物が高く、令和3年度以降、呼吸器系及び内分泌・代謝は増加しているが、新生物は減少している。</p>
キ		3-10.生活習慣病の経年推移	特定健診分析	<p>高血圧性疾患、脂質異常症、糖尿病の順に患者割合が高く、加入者1人当たりの医療費は、高血圧性疾患、糖尿病、脂質異常症の順となっている。</p> <p>患者1人当たり医療費は、心筋梗塞及び脳出血で高くなっている。特に被保険者で高血圧性疾患の患者割合が高い。経年では高血圧性疾患、糖尿病、脂質異常症で患者の増加がみられ、特に被保険者では高血圧性疾患、被扶養者では脂質異常症の増加幅が大きい。</p>

ク		3-11.性別生活習慣病の状況	特定健診分析	令和4年度の生活習慣病の医療費は全体の12.1%となっており、女性（8.0%）より男性（15.5%）の占める割合が高い。男女とも高血圧症疾患、糖尿病、脂質異常症の患者割合が高く、被保険者男性の高血圧性疾患の患者割合が10.5%と最も高い。患者1人当たりの医療費では、男性は心筋梗塞が女性は脳出血が最も高額である。
ケ		3-15.がんの経年推移	健康リスク分析	被保険者では大腸がんが最も高く、その他悪性新生物、胃がん、乳がん、前立腺がん、気管・肺がんが高い。被扶養者では乳がん最も高く、大腸がん、子宮体部がん、その他悪性新生物が高い。加入者1人当たりの医療費では、乳がんが高く、患者1人当たりの医療費では、白血病、悪性リンパ腫が高い。経年では令和2年度に減少しているが、令和3年度以降は大腸がん、気管・肺がん、乳がん、子宮体部がん、前立腺がんで、患者割合が増加傾向である。
コ		3-18.性別精神疾患の状況	健康リスク分析	精神疾患が総医療費に占める割合は4.6%で、男性（4.0%）より女性（5.3%）の割合が高い。精神疾患の医療費割合のうち、男性はその他の精神及び行動の障害が高く（35.0%）、女性は統合失調症が高い（28.1%）。患者数や患者割合は神経症性障害、うつ病、その他の精神及び行動の障害が多く、加入者1人当たりの医療費は男性はその他の精神及び行動の障害が、女性は統合失調症が高い。患者1人当たりの医療費は男女とも統合失調症が高い。精神疾患の医療費の被保険者では男女ともうつ病が約4割、被扶養者男性ではその他の精神及び行動の障害が約6割、女性は統合失調症が約3割を占めている。
サ		4-5.歯周病患者における生活習慣病の併発状況	健康リスク分析	歯周病の生活習慣病の併発割合は、脂質異常症が13.1%、高血圧性疾患が11.6%、糖尿病が6.9%みられるが、高尿酸血症および痛風や脂肪肝などの疾患も一定数いる。また、生活習慣病のない人が約8割である。

シ		5-1.性別特定健診受診率	特定健診分析	<p>特定健診受診率は増加しており、令和4年度で80%を超えたものの国の目標値（85%）には達していない。被保険者は男女とも国の目標値を超えているが、被扶養者の受診率が55.4%と低く、特に男性が16.5%と低い。被保険者は、男性で50代後半から加齢とともに受診率が減少傾向となっており、被扶養者は全年齢で低いものの、60代前半以降が特に低い。</p>
ス		5-2.年齢階級別特定健診受診率	特定健診分析	<p>特定健診受診率は増加しており、令和4年度で80%を超えたものの国の目標値（85%）には達していない。被保険者は男女とも国の目標値を超えているが、被扶養者の受診率が55.4%と低く、特に男性が16.5%と低い。被保険者は、男性で50代後半から加齢とともに受診率が減少傾向となっており、被扶養者は全年齢で低いものの、60代前半以降が特に低い。</p>
セ		5-10.肥満解消率	健康リスク分析	<p>肥満解消者は610名であり、解消率は9.1%である。被保険者の解消率が被扶養者より低い。</p>

ソ		5-12.生活習慣リスク保有率(運動習慣、食事習慣、睡眠習慣、飲酒習慣、喫煙)	健康リスク分析	<p>【運動】 令和4年度の運動習慣のリスク保有率は66.7%で、経年では減少しているが、約7割の人が運動習慣のリスクを有している。</p> <p>【食事】 令和4年度の食事習慣のリスク保有率は48.0%で、経年では、令和2年に減少したものの令和3年度以降増加している。</p> <p>【睡眠】 令和4年度の睡眠習慣のリスク保有率は37.8%で、経年では、令和2年度にかけて減少したが、令和3年度以降は横ばいで推移しており、約4割の人が睡眠習慣にリスクがある。</p> <p>【飲酒】 令和4年度の飲酒習慣のリスク保有率は10.1%で、経年では減少傾向にあったものの、令和4年度では増加に転じている。</p> <p>【喫煙】 令和4年度の喫煙率は25.4%で減少している。最も高かった平成30年度(28.4%)に比べ、3.0ポイント減少している。</p>
タ		5-13.リスクフローチャート(血圧)	健康リスク分析	<p>血圧のリスク保有者のうち、医療機関受診中のコントロール不良者が1,589人、医療機関受診勧奨者が1,914人になり、医療機関受診勧奨でⅢ度高血圧該当者97人のうち、88人は被保険者である。</p>
チ		5-14.リスクフローチャート(脂質異常症)	健康リスク分析	<p>脂質異常症のリスク保有者のうち、医療機関受診中のコントロール不良者が1,892人、医療機関受診勧奨者が3,792人になる。</p>

ツ		5-15.リスクフローチャート（糖尿病）	健康リスク分析	糖尿病のリスク保有者のうち、医療機関受診中のコントロール不良者が983人、医療機関受診勧奨者が369人になり、医療機関受診勧奨者で高血糖Ⅳ該当者98人うち、92人は被保険者である。
テ		5-19.年齢階級別・健診受診有無別医療費	特定健診分析	年齢階級別・健診受診有無別1人当たり医療費をみると、40歳以上のすべての年齢階級で健診なしの1人当たり医療費が高くなっている。特に50代前半、70歳以上の医療費の差が大きい。
ト		6-1.特定保健指導対象者割合	特定健診分析	令和4年度の特定保健指導対象者割合は20.6%で、最も高かった令和2年度（22.1%）から減少している。被保険者も同様で、被扶養者についてはほとんど横ばいとなっている。特定保健指導対象者の約91%が被保険者である。
ナ		6-2.性別特定保健指導終了率	特定保健指導分析	特定保健指導終了率は新型コロナウイルスの影響で令和3年度に減少し、令和4年度は増加に転じたものの7.3%と、令和元年度以前の終了率に届いていない。令和3年度のみ女性が男性を上回ったが、令和3年度以外の終了率は女性より男性が高い。 年齢階級別に特定保健指導終了率をみると、男女ともに40歳前半から60代前半まで10%以下と非常に低くなっている。60代後半の女性、70歳以上の男性は0%であった。被保険者、被扶養者についても対象者数が比較的少ない60代後半以上を除いて同様の傾向がみられる。

二		6-3.年齢階級別特定保健指導終了率	特定保健指導分析	<p>特定保健指導終了率は新型コロナウイルスの影響で令和3年度に減少し、令和4年度は増加に転じたものの7.3%と、令和元年度以前の終了率に届いていない。令和3年度のみ女性が男性を上回ったが、令和3年度以外の終了率は女性より男性が高い。</p> <p>年齢階級別に特定保健指導終了率をみると、男女ともに40歳前半から60代前半まで10%以下と非常に低くなっている。60代後半の女性、70歳以上の男性は0%であった。被保険者、被扶養者についても対象者数が比較的少ない60代後半以上を除いて同様の傾向がみられる。</p>
又		7-1.後発医薬品使用率の経年推移	後発医薬品分析	<p>数量ベースにおける使用率は、令和4年度の全体で82.0%と経年でも増加している。使用率を診療種別でみると、調剤が最も高い。</p>
ネ		7-4.重複受診の経年推移	その他	<p>重複受診者数、割合とも令和2年度に低下したが、その後増加し令和3年度以降は1.0%でほぼ横ばいとなっている。</p>
ノ		7-8.重複服薬の経年推移	その他	<p>令和4年度における重複投薬者数は104人（0.3%）で、経年で見ると、令和2年度に低下したものの令和4年度にかけて増加している。被扶養者が約7割を占める。</p>



## 【全体】 1-1.年齢階級別加入数の経年推移

使用データ：加入者データ

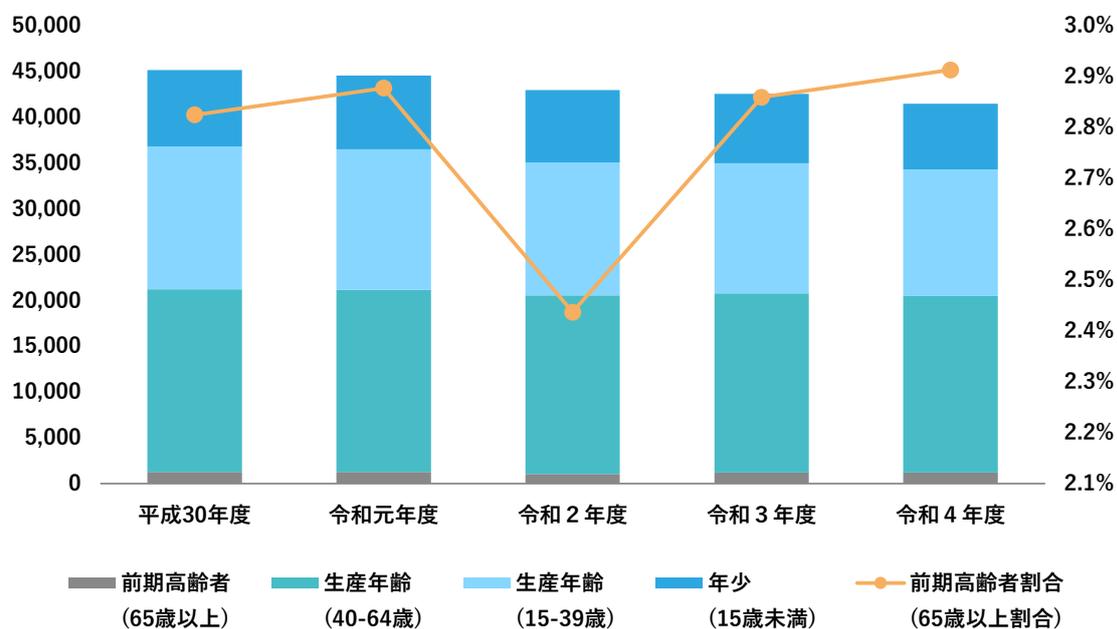
加入者データ使用年：平成30年～令和4年度末

年齢階級別加入者数の推移

(人)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年少 (15歳未満)	8,341	8,093	7,895	7,580	7,196
生産年齢 (15-39歳)	15,615	15,343	14,535	14,208	13,830
生産年齢 (40-64歳)	19,962	19,892	19,522	19,582	19,291
前期高齢者 (65歳以上)	1,277	1,284	1,048	1,218	1,210
合計	45,195	44,612	43,000	42,588	41,527
前期高齢者割合 (65歳以上割合)	2.8%	2.9%	2.4%	2.9%	2.9%

(人)



## 【全体】1-2.性別・年齢階級別加入者数の状況

使用データ：加入者データ

加入者データ使用年：令和2年～令和4年度末

### 【令和2年度】

性別・年齢階級別加入者数

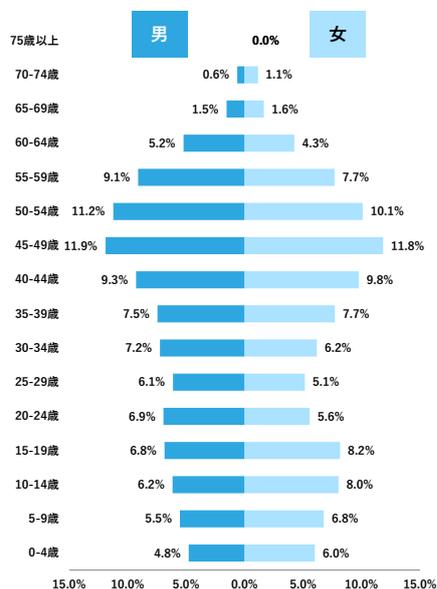
(人)

性別・年齢階級別加入者構成割合

	令和2年度		
	男	女	合計
0-4歳	1,165	1,121	2,286
5-9歳	1,348	1,262	2,610
10-14歳	1,502	1,497	2,999
15-19歳	1,666	1,523	3,189
20-24歳	1,689	1,038	2,727
25-29歳	1,490	960	2,450
30-34歳	1,763	1,152	2,915
35-39歳	1,814	1,440	3,254
40-44歳	2,261	1,820	4,081
45-49歳	2,896	2,210	5,106
50-54歳	2,735	1,884	4,619
55-59歳	2,216	1,435	3,651
60-64歳	1,272	793	2,065
65-69歳	375	307	682
70-74歳	153	213	366
75歳-	0	0	0
合計	24,345	18,655	43,000

	令和2年度		
	男	女	合計
0-4歳	4.8%	6.0%	5.3%
5-9歳	5.5%	6.8%	6.1%
10-14歳	6.2%	8.0%	7.0%
15-19歳	6.8%	8.2%	7.4%
20-24歳	6.9%	5.6%	6.3%
25-29歳	6.1%	5.1%	5.7%
30-34歳	7.2%	6.2%	6.8%
35-39歳	7.5%	7.7%	7.6%
40-44歳	9.3%	9.8%	9.5%
45-49歳	11.9%	11.8%	11.9%
50-54歳	11.2%	10.1%	10.7%
55-59歳	9.1%	7.7%	8.5%
60-64歳	5.2%	4.3%	4.8%
65-69歳	1.5%	1.6%	1.6%
70-74歳	0.6%	1.1%	0.9%
75歳-	0.0%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

性別・年齢階級別加入者数構成割合



	全体	男	女
65歳以上	2.4%	2.2%	2.8%
40-64歳	45.4%	46.7%	43.6%
15-39歳	33.8%	34.6%	32.8%
15歳未満	18.4%	16.5%	20.8%

【令和3年度】

性別・年齢階級別加入者数

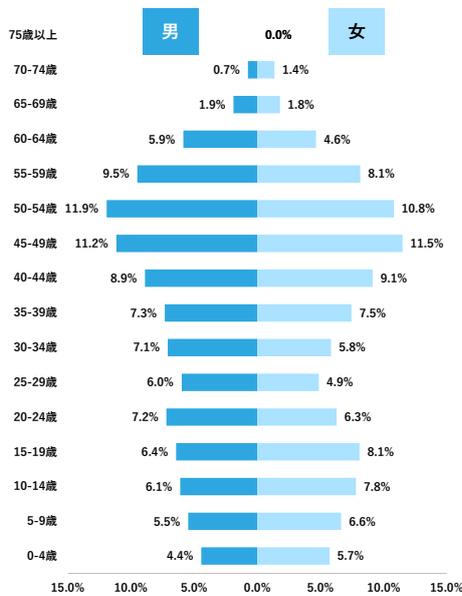
(人)

性別・年齢階級別加入者構成割合

	令和3年度		
	男	女	合計
0-4歳	1,073	1,051	2,124
5-9歳	1,322	1,220	2,542
10-14歳	1,477	1,437	2,914
15-19歳	1,554	1,489	3,043
20-24歳	1,739	1,155	2,894
25-29歳	1,447	895	2,342
30-34歳	1,713	1,074	2,787
35-39歳	1,770	1,372	3,142
40-44歳	2,149	1,679	3,828
45-49歳	2,697	2,116	4,813
50-54歳	2,884	1,989	4,873
55-59歳	2,296	1,500	3,796
60-64歳	1,417	855	2,272
65-69歳	458	329	787
70-74歳	181	250	431
75歳-	0	0	0
合計	24,177	18,411	42,588

	令和3年度		
	男	女	合計
0-4歳	4.4%	5.7%	5.0%
5-9歳	5.5%	6.6%	6.0%
10-14歳	6.1%	7.8%	6.8%
15-19歳	6.4%	8.1%	7.1%
20-24歳	7.2%	6.3%	6.8%
25-29歳	6.0%	4.9%	5.5%
30-34歳	7.1%	5.8%	6.5%
35-39歳	7.3%	7.5%	7.4%
40-44歳	8.9%	9.1%	9.0%
45-49歳	11.2%	11.5%	11.3%
50-54歳	11.9%	10.8%	11.4%
55-59歳	9.5%	8.1%	8.9%
60-64歳	5.9%	4.6%	5.3%
65-69歳	1.9%	1.8%	1.8%
70-74歳	0.7%	1.4%	1.0%
75歳-	0.0%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

性別・年齢階級別加入者数構成割合



	全体	男	女
65歳以上	2.9%	2.6%	3.1%
40-64歳	46.0%	47.3%	44.2%
15-39歳	33.4%	34.0%	32.5%
15歳未満	17.8%	16.0%	20.1%

【令和4年度】

性別・年齢階級別加入者数

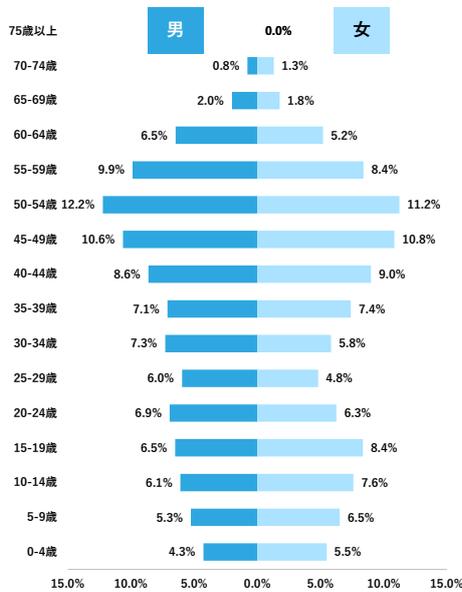
(人)

性別・年齢階級別加入者構成割合

	令和4年度		
	男	女	合計
0-4歳	1,008	981	1,989
5-9歳	1,241	1,167	2,408
10-14歳	1,438	1,361	2,799
15-19歳	1,537	1,497	3,034
20-24歳	1,638	1,119	2,757
25-29歳	1,408	861	2,269
30-34歳	1,722	1,045	2,767
35-39歳	1,680	1,323	3,003
40-44歳	2,037	1,609	3,646
45-49歳	2,511	1,941	4,452
50-54歳	2,889	2,012	4,901
55-59歳	2,332	1,503	3,835
60-64歳	1,527	930	2,457
65-69歳	474	317	791
70-74歳	185	234	419
75歳-	0	0	0
合計	23,627	17,900	41,527

	令和4年度		
	男	女	合計
0-4歳	4.3%	5.5%	4.8%
5-9歳	5.3%	6.5%	5.8%
10-14歳	6.1%	7.6%	6.7%
15-19歳	6.5%	8.4%	7.3%
20-24歳	6.9%	6.3%	6.6%
25-29歳	6.0%	4.8%	5.5%
30-34歳	7.3%	5.8%	6.7%
35-39歳	7.1%	7.4%	7.2%
40-44歳	8.6%	9.0%	8.8%
45-49歳	10.6%	10.8%	10.7%
50-54歳	12.2%	11.2%	11.8%
55-59歳	9.9%	8.4%	9.2%
60-64歳	6.5%	5.2%	5.9%
65-69歳	2.0%	1.8%	1.9%
70-74歳	0.8%	1.3%	1.0%
75歳-	0.0%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

性別・年齢階級別加入者数構成割合



	全体	男	女
65歳以上	2.9%	2.8%	3.1%
40-64歳	46.5%	47.8%	44.7%
15-39歳	33.3%	33.8%	32.7%
15歳未満	17.3%	15.6%	19.6%

## 【全体】 2-1.医療費の経年推移

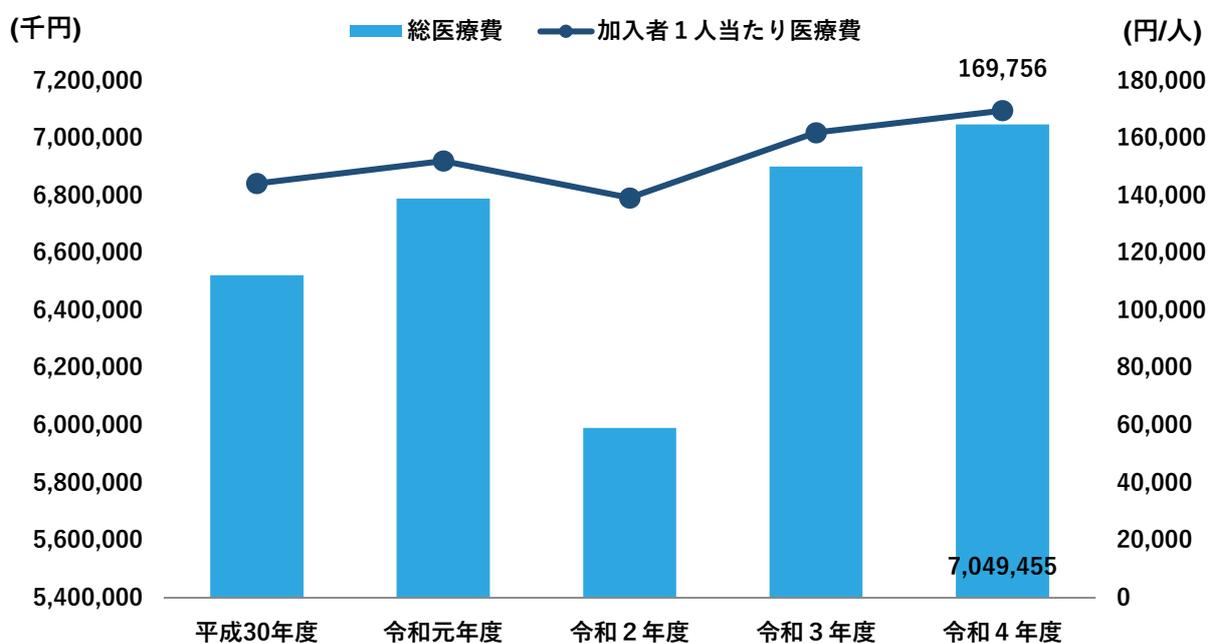
使用データ：レセプトデータ（医科、歯科、調剤、訪問看護）、加入者データ

レセプトデータ使用年月：平成30年4月～令和5年3月診療

加入者データ使用年：平成30年～令和4年度末

### 総医療費の年度推移

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
総医療費(千円)	6,524,024	6,790,840	5,990,999	6,902,325	7,049,455
加入者数(人)	45,195	44,612	43,000	42,588	41,527
加入者1人当たり 医療費(円)	144,353	152,220	139,326	162,072	169,756



## 【全体】2-3.性別・年齢階級別加入者1人当たり医療費

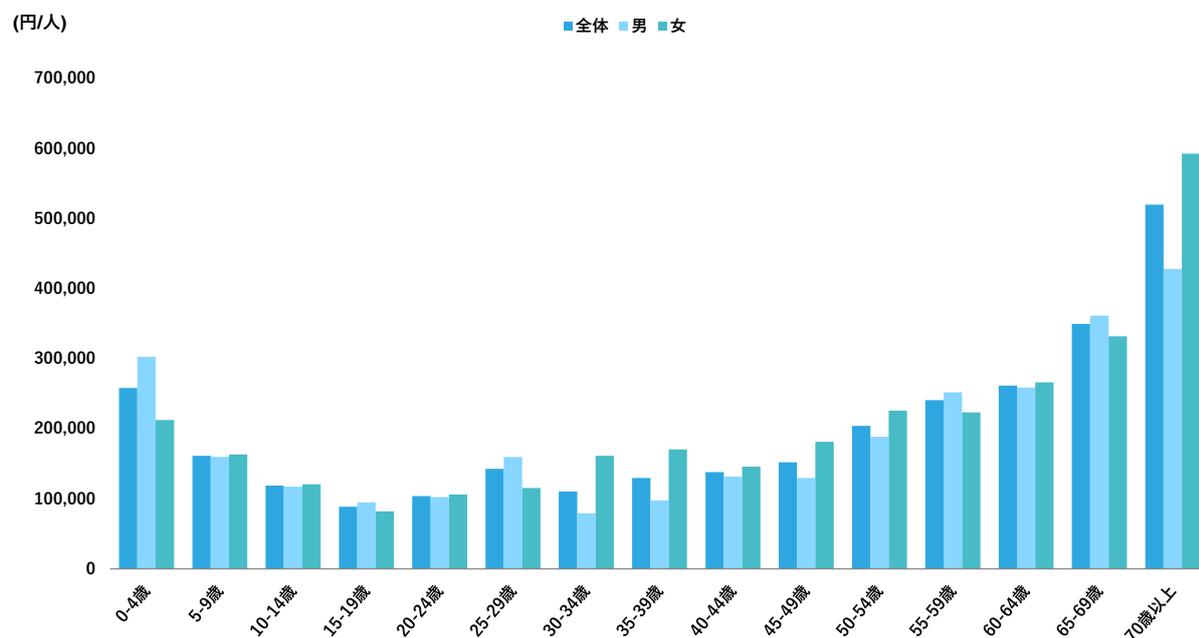
使用データ：レセプトデータ（医科、歯科、調剤、訪問看護）、加入者データ

レセプトデータ使用年月：令和4年4月～令和5年3月診療

加入者データ使用年：令和4年度末

### 性別・年齢階級別加入者1人当たり医療費

	加入者数(人)			医療費(千円)			加入者1人当たり医療費(円)		
	男	女	合計	男	女	合計	男	女	全体
0-4歳	1,008	981	1,989	305,104	208,479	513,582	302,682	212,516	258,211
5-9歳	1,241	1,167	2,408	198,586	190,396	388,982	160,021	163,150	161,537
10-14歳	1,438	1,361	2,799	168,528	164,094	332,622	117,196	120,569	118,836
15-19歳	1,537	1,497	3,034	145,782	122,693	268,474	94,848	81,959	88,489
20-24歳	1,638	1,119	2,757	167,339	118,548	285,888	102,161	105,941	103,695
25-29歳	1,408	861	2,269	224,614	99,343	323,956	159,527	115,380	142,775
30-34歳	1,722	1,045	2,767	136,722	168,607	305,329	79,397	161,347	110,347
35-39歳	1,680	1,323	3,003	163,885	225,485	389,370	97,551	170,435	129,660
40-44歳	2,037	1,609	3,646	268,258	234,835	503,094	131,693	145,951	137,985
45-49歳	2,511	1,941	4,452	325,229	352,163	677,391	129,522	181,434	152,154
50-54歳	2,889	2,012	4,901	544,992	454,644	999,636	188,644	225,966	203,966
55-59歳	2,332	1,503	3,835	587,839	335,654	923,493	252,075	223,322	240,807
60-64歳	1,527	930	2,457	395,231	247,761	642,993	258,829	266,410	261,698
65-69歳	474	317	791	171,413	105,278	276,691	361,632	332,107	349,799
70歳以上	185	234	419	79,239	138,715	217,954	428,319	592,799	520,177
合計	23,627	17,900	41,527	3,882,760	3,166,695	7,049,455	164,336	176,910	169,756



### 【全体】 3-1.疾病大分類別・入外別医療費の状況

使用データ：レセプトデータ（医科、調剤）

レセプトデータ使用年月：令和4年4月～令和5年3月診療

主病を集計（医療費は調剤費を含む）

#### 疾病大分類別・入外別医療費の構成割合

※全体医療費の多い順

順位	疾病大分類		令和4年度					
			全体		入外別			
	コード	略称名	医療費(千円)	構成割合	医療費(円)		構成割合	
					入院	入院外	入院	入院外
1	10	呼吸器系	722,223	11.7%	67,041,280	655,181,510	9.3%	90.7%
2	9	循環器系	658,631	10.7%	261,639,304	396,991,460	39.7%	60.3%
3	2	新生物	616,813	10.0%	245,967,957	370,845,040	39.9%	60.1%
4	4	内分泌・代謝	578,495	9.4%	70,674,026	507,820,550	12.2%	87.8%
5	11	消化器系	456,067	7.4%	164,773,870	291,292,670	36.1%	63.9%
6	13	筋骨格系	426,075	6.9%	131,141,545	294,933,450	30.8%	69.2%
7	14	泌尿生殖器系	383,489	6.2%	58,611,890	324,877,100	15.3%	84.7%
8	12	皮膚	314,225	5.1%	9,786,888	304,437,620	3.1%	96.9%
9	5	精神系	281,143	4.6%	58,693,496	222,449,180	20.9%	79.1%
10	19	その他の外因	231,650	3.8%	104,900,844	126,749,240	45.3%	54.7%
11	6	神経系	229,638	3.7%	71,305,868	158,332,060	31.1%	68.9%
12	22	特殊目的	227,885	3.7%	18,280,406	209,604,680	8.0%	92.0%
13	7	眼科系	223,673	3.6%	21,700,560	201,972,880	9.7%	90.3%
14	1	感染症	158,380	2.6%	22,981,169	135,398,880	14.5%	85.5%
15	3	血液・免疫	155,848	2.5%	8,394,082	147,453,610	5.4%	94.6%
16	18	他に分類されない	119,407	1.9%	9,324,794	110,082,520	7.8%	92.2%
17	16	周産期	114,624	1.9%	102,177,778	12,445,890	89.1%	10.9%
18	17	先天奇形	99,040	1.6%	64,579,238	34,461,030	65.2%	34.8%
19	15	妊娠,分娩	73,949	1.2%	67,358,814	6,590,610	91.1%	8.9%
20	8	耳科系	58,335	0.9%	9,462,000	48,873,180	16.2%	83.8%
21	21	保健サービス	19,696	0.3%	5,369,062	14,326,920	27.3%	72.7%
22	20	傷病・死因の原因	0	0.0%	0	0	0.0%	0.0%
-	-	その他	18,434	0.3%	312,520	18,121,800	1.7%	98.3%
		全体	6,167,719	100.0%	1,574,477,391	4,593,241,880	25.5%	74.5%

### 【全体】 3-2.疾病大分類別加入者 1 人当たり医療費の年度推移（上位10位）

使用データ：レセプトデータ（医科、調剤）、加入者データ  
 レセプトデータ使用年月：平成30年4月～令和5年3月診療  
 加入者データ使用年：平成30年～令和4年度末  
 主病を集計（医療費は調剤費を含む）

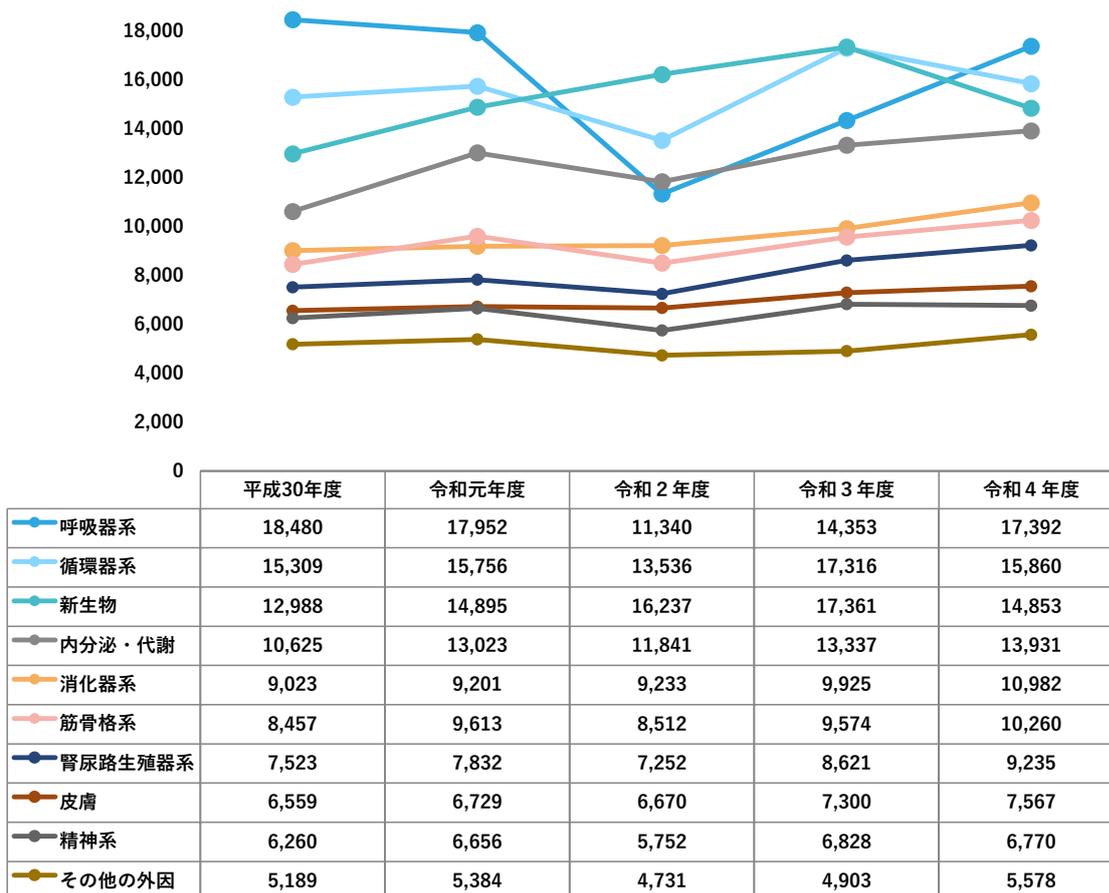
#### 疾病大分類別加入者 1 人当たり医療費（上位10位）

※令和4年度の上位10位を表示

(円)

順位	疾病大分類		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	コード	略称					
1	10	呼吸器系	18,480	17,952	11,340	14,353	17,392
2	9	循環器系	15,309	15,756	13,536	17,316	15,860
3	2	新生物	12,988	14,895	16,237	17,361	14,853
4	4	内分泌・代謝	10,625	13,023	11,841	13,337	13,931
5	11	消化器系	9,023	9,201	9,233	9,925	10,982
6	13	筋骨格系	8,457	9,613	8,512	9,574	10,260
7	14	腎尿路生殖器系	7,523	7,832	7,252	8,621	9,235
8	12	皮膚	6,559	6,729	6,670	7,300	7,567
9	5	精神系	6,260	6,656	5,752	6,828	6,770
10	19	その他の外因	5,189	5,384	4,731	4,903	5,578

(円/人)



### 【全体】3-10.生活習慣病の経年推移

使用データ：レセプトデータ（医科、調剤）、加入者データ

レセプトデータ使用年月：平成30年4月～令和4年3月診療

加入者データ使用年：平成30年度末～令和4年度末

主病を集計（医療費は調剤費を含む）

#### 生活習慣病患者割合の推移

疾患名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
高血圧性疾患	5.38%	5.58%	5.38%	6.28%	6.40%
糖尿病	2.25%	2.36%	2.07%	2.38%	2.40%
脂質異常症	2.87%	3.01%	2.92%	3.37%	3.41%
脳出血	0.11%	0.13%	0.10%	0.13%	0.13%
脳梗塞	0.39%	0.39%	0.36%	0.44%	0.41%
狭心症	0.48%	0.49%	0.44%	0.52%	0.53%
心筋梗塞	0.08%	0.09%	0.07%	0.09%	0.12%
動脈硬化症	0.07%	0.05%	0.07%	0.06%	0.07%
脂肪肝	0.18%	0.22%	0.23%	0.24%	0.22%
高尿酸血症	0.52%	0.56%	0.53%	0.56%	0.57%
慢性腎臓病	0.07%	0.08%	0.08%	0.09%	0.07%

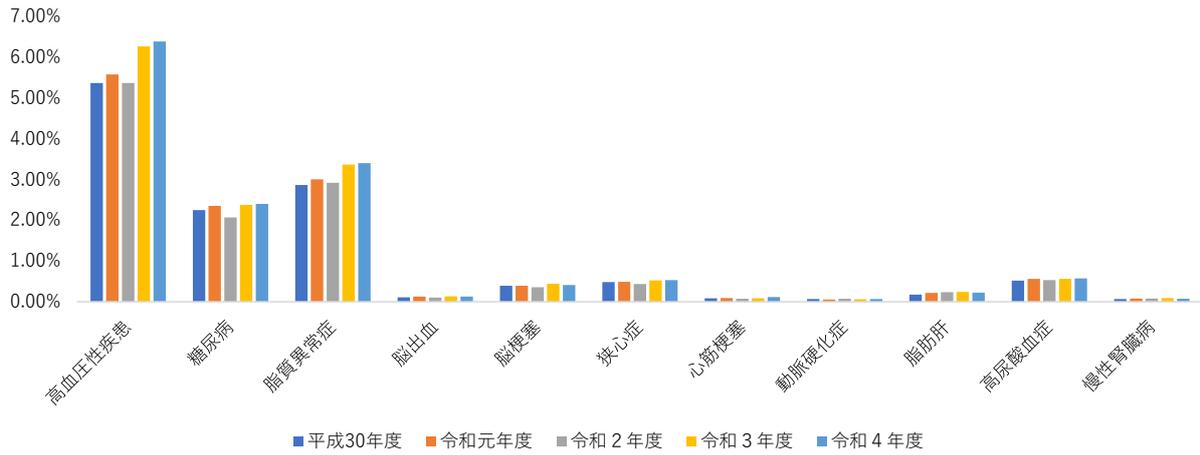
#### 生活習慣病の加入者1人当たり医療費の推移

疾患名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
高血圧性疾患	6,088	6,084	5,337	6,430	6,703
糖尿病	4,287	4,492	3,766	4,277	4,630
脂質異常症	2,190	2,319	2,226	2,727	2,769
脳出血	415	758	933	821	394
脳梗塞	891	1,115	927	1,883	1,063
狭心症	839	1,157	587	724	731
心筋梗塞	391	526	271	730	909
動脈硬化症	91	30	72	124	181
脂肪肝	89	90	95	114	99
高尿酸血症	286	303	313	349	342
慢性腎臓病	99	230	180	371	200

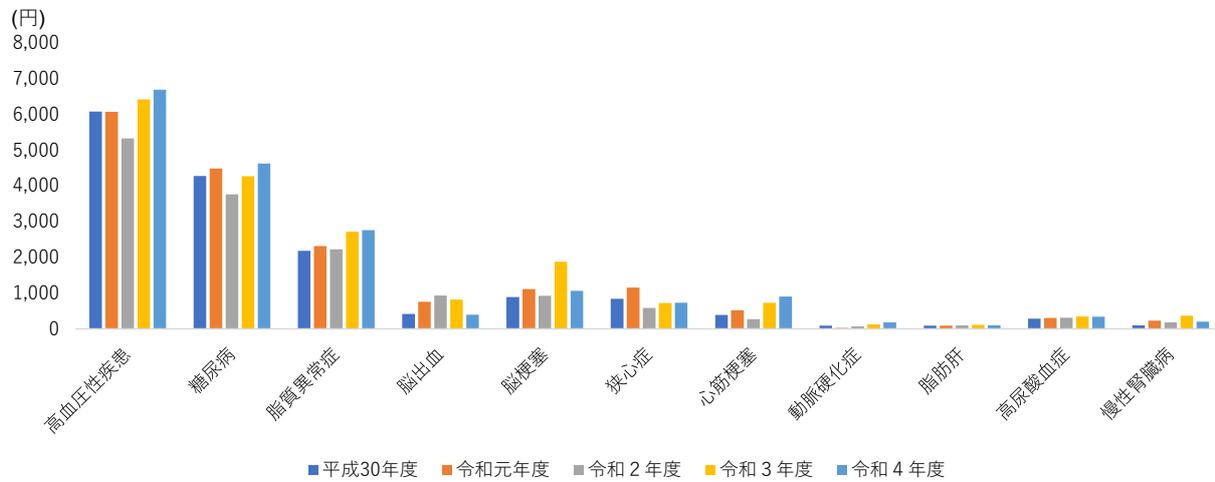
#### 生活習慣病の患者1人当たり医療費の推移

疾患名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
高血圧性疾患	113,223	108,967	99,253	102,444	104,795
糖尿病	190,320	190,661	181,971	179,647	192,665
脂質異常症	76,419	77,138	76,146	80,991	81,265
脳出血	382,621	593,359	912,040	613,562	314,599
脳梗塞	228,702	285,918	258,868	428,807	258,196
狭心症	173,240	237,949	134,263	138,212	137,948
心筋梗塞	465,540	601,230	388,585	840,354	786,262
動脈硬化症	137,136	57,937	102,950	210,660	278,347
脂肪肝	50,529	41,858	40,299	47,157	44,411
高尿酸血症	54,926	53,839	59,053	62,231	59,939
慢性腎臓病	143,826	284,858	233,955	405,004	267,409

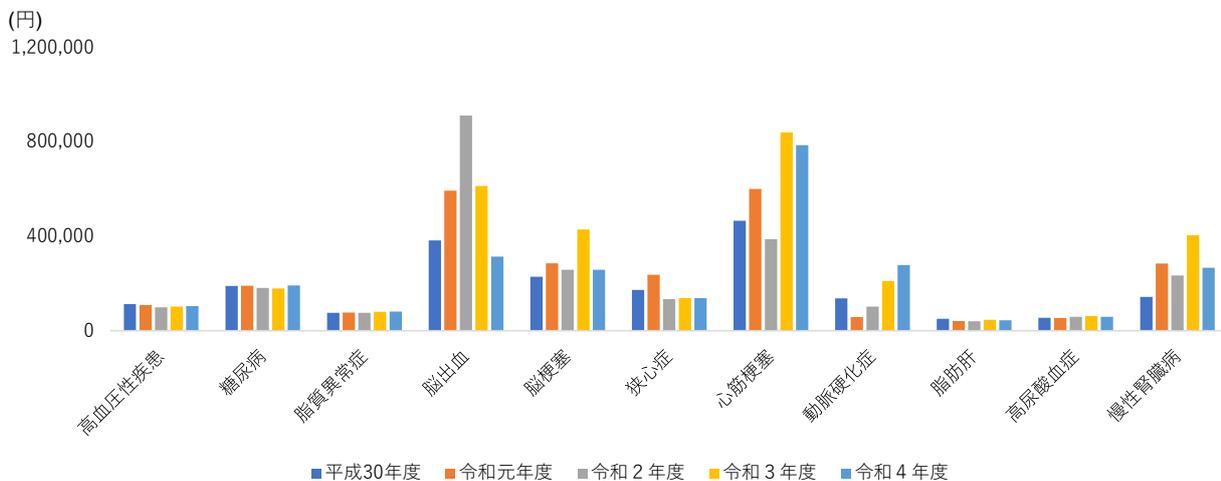
### 生活習慣病患者割合の推移



### 生活習慣病の加入者一人当たり医療費の推移



### 生活習慣病の患者一人当たり医療費の推移



## 【全体】 3-11.性別生活習慣病の状況

使用データ：レセプトデータ（医科、調剤）、加入者データ

レセプトデータ使用年月：令和4年4月～令和5年3月診療

加入者データ使用年：令和4年度末

主病を集計（医療費は調剤費を含む）

### 生活習慣病の状況

#### 全体

疾病名	加入者数 41,527人 総医療費 6,167,719千円					
	医療費(千円)	医療費割合	加入者1人当たり医療費(円)	患者数(人)	患者1人当たり医療費(円)	患者割合
高血圧性疾患	278,335	4.5%	6,703	2,656	104,795	6.4%
糖尿病	192,280	3.1%	4,630	998	192,665	2.4%
脂質異常症	114,991	1.9%	2,769	1,415	81,265	3.4%
脳出血	16,359	0.3%	394	52	314,599	0.1%
脳梗塞	44,152	0.7%	1,063	171	258,196	0.4%
狭心症	30,349	0.5%	731	220	137,948	0.5%
心筋梗塞	37,741	0.6%	909	48	786,262	0.1%
動脈硬化症	7,515	0.1%	181	27	278,347	0.1%
脂肪肝	4,130	0.1%	99	93	44,411	0.2%
高尿酸血症および痛風	14,206	0.2%	342	237	59,939	0.6%
慢性腎臓病	8,290	0.1%	200	31	267,409	0.1%

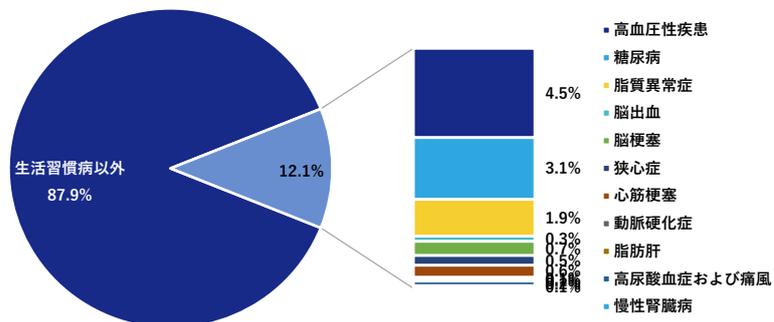
#### 男

疾病名	加入者数 23,627人 総医療費 3,414,132千円					
	医療費(千円)	医療費割合	加入者1人当たり医療費(円)	患者数(人)	患者1人当たり医療費(円)	患者割合
高血圧性疾患	194,981	5.7%	8,252	1,848	105,509	7.8%
糖尿病	136,253	4.0%	5,767	697	195,485	3.0%
脂質異常症	68,484	2.0%	2,899	831	82,411	3.5%
脳出血	4,684	0.1%	198	34	137,765	0.1%
脳梗塞	37,066	1.1%	1,569	113	328,021	0.5%
狭心症	25,466	0.7%	1,078	151	168,652	0.6%
心筋梗塞	33,457	1.0%	1,416	39	857,862	0.2%
動脈硬化症	5,879	0.2%	249	19	309,442	0.1%
脂肪肝	3,285	0.1%	139	77	42,659	0.3%
高尿酸血症および痛風	13,968	0.4%	591	230	60,731	1.0%
慢性腎臓病	4,728	0.1%	200	24	197,002	0.1%

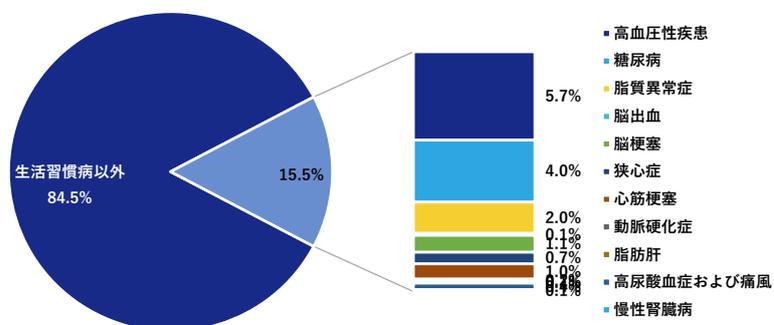
#### 女

疾病名	加入者数 17,900人 総医療費 2,753,587千円					
	医療費(千円)	医療費割合	加入者1人当たり医療費(円)	患者数(人)	患者1人当たり医療費(円)	患者割合
高血圧性疾患	83,354	3.0%	4,657	808	103,161	4.5%
糖尿病	56,026	2.0%	3,130	301	186,134	1.7%
脂質異常症	46,507	1.7%	2,598	584	79,635	3.3%
脳出血	11,675	0.4%	652	18	648,619	0.1%
脳梗塞	7,085	0.3%	396	58	122,158	0.3%
狭心症	4,882	0.2%	273	69	70,757	0.4%
心筋梗塞	4,284	0.2%	239	9	475,992	0.1%
動脈硬化症	1,636	0.1%	91	8	204,494	0.0%
脂肪肝	845	0.0%	47	16	52,843	0.1%
高尿酸血症および痛風	237	0.0%	13	7	33,921	0.0%
慢性腎臓病	3,562	0.1%	199	7	508,807	0.0%

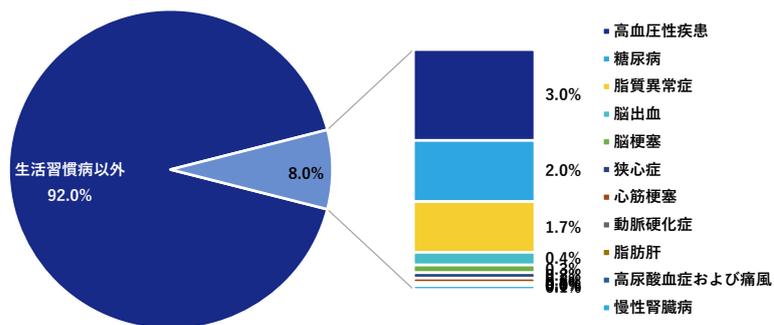
総医療費にみる生活習慣病の医療費割合  
全体



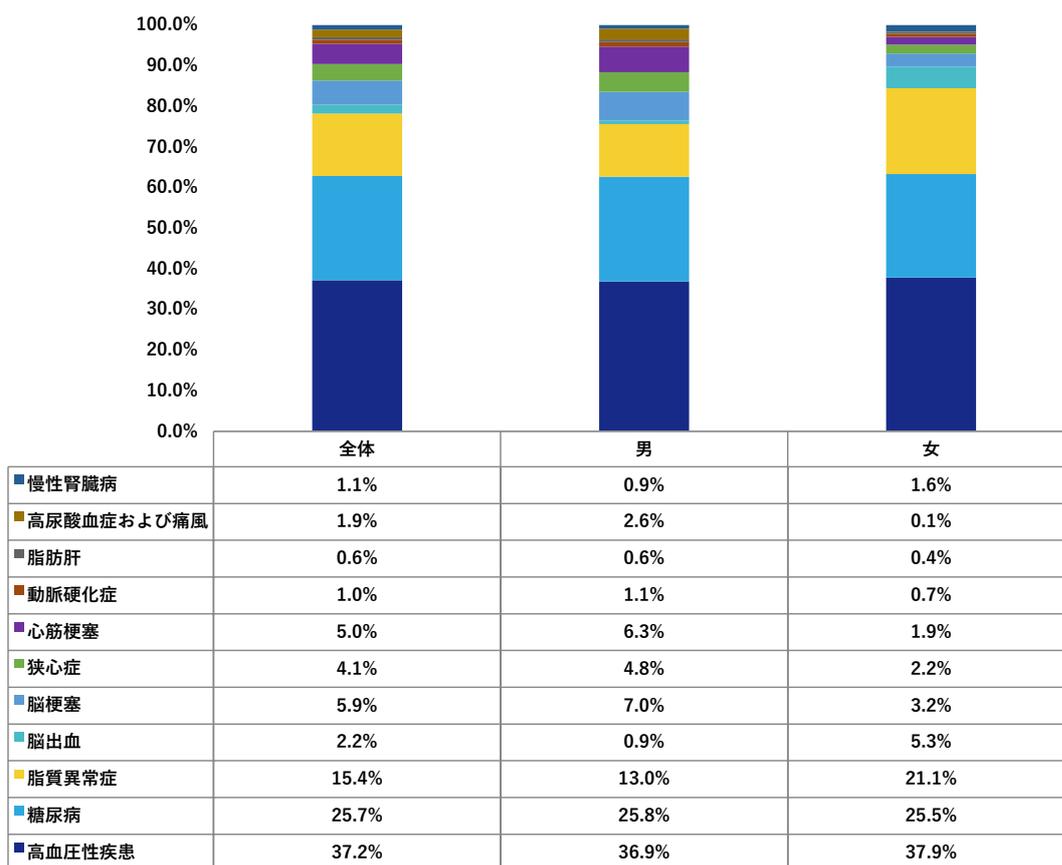
男



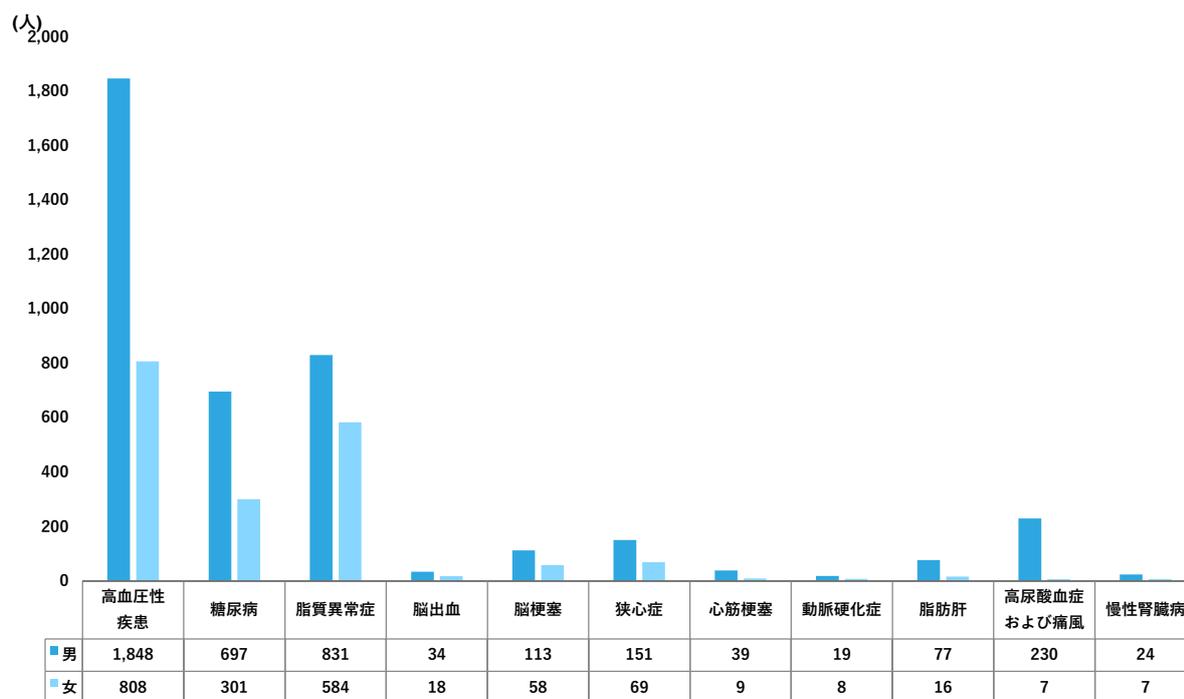
女



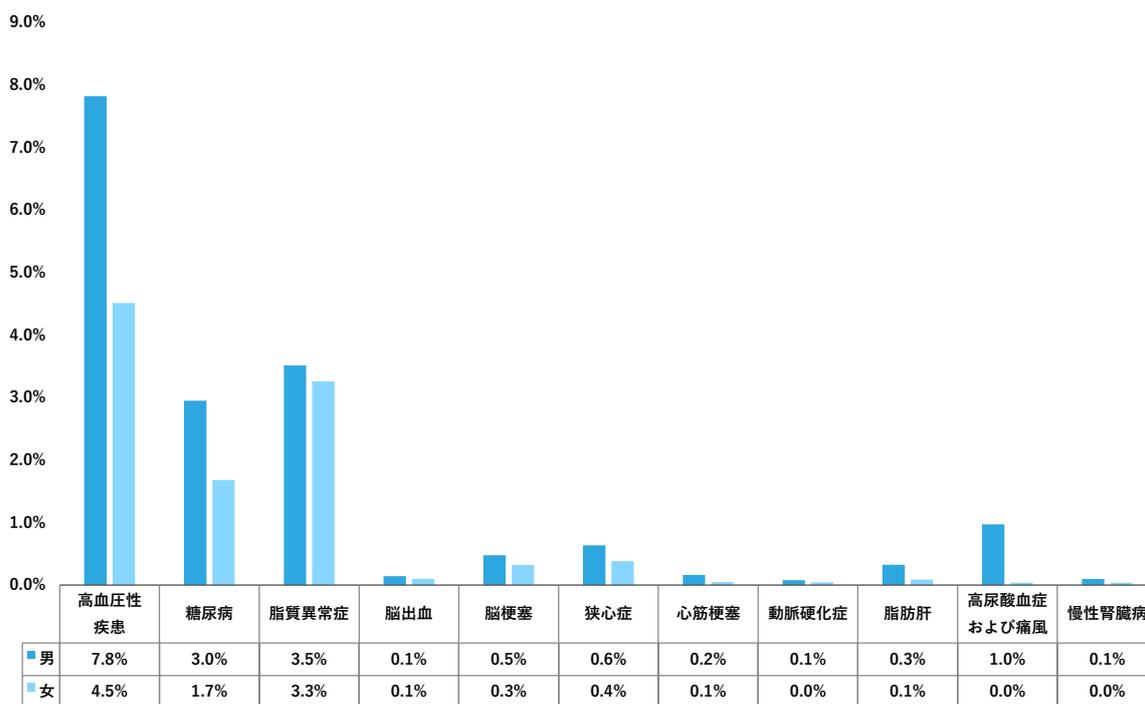
## 生活習慣病の医療費割合



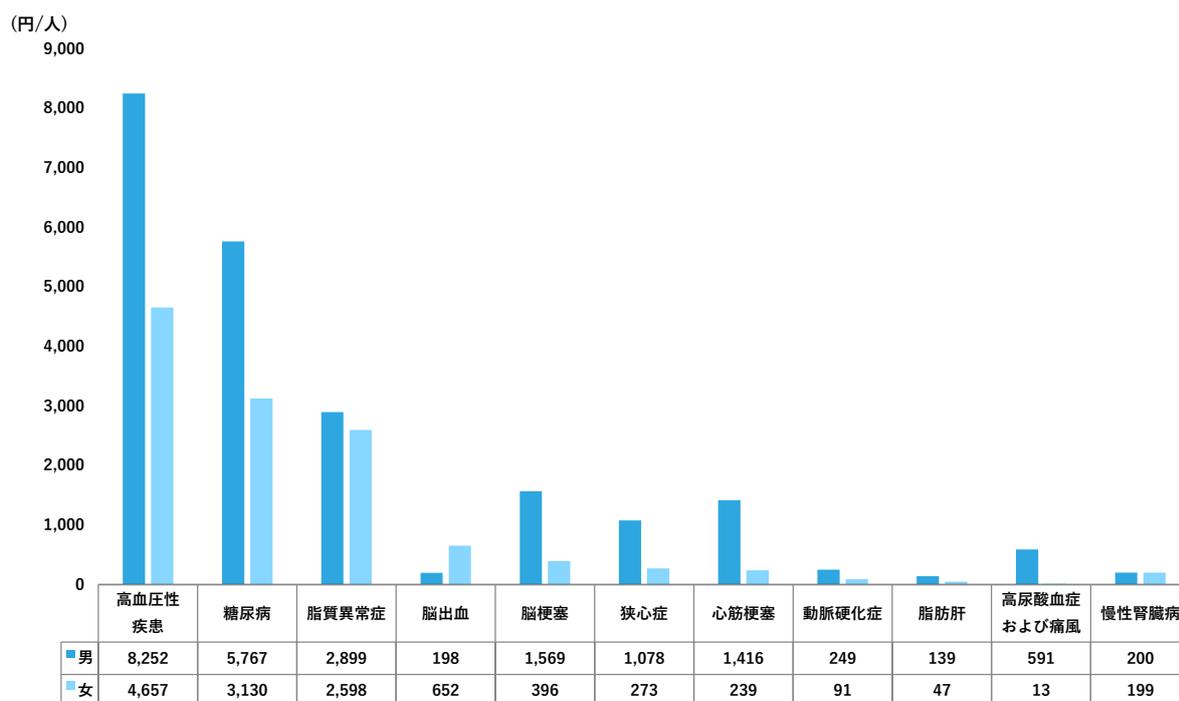
## 患者数



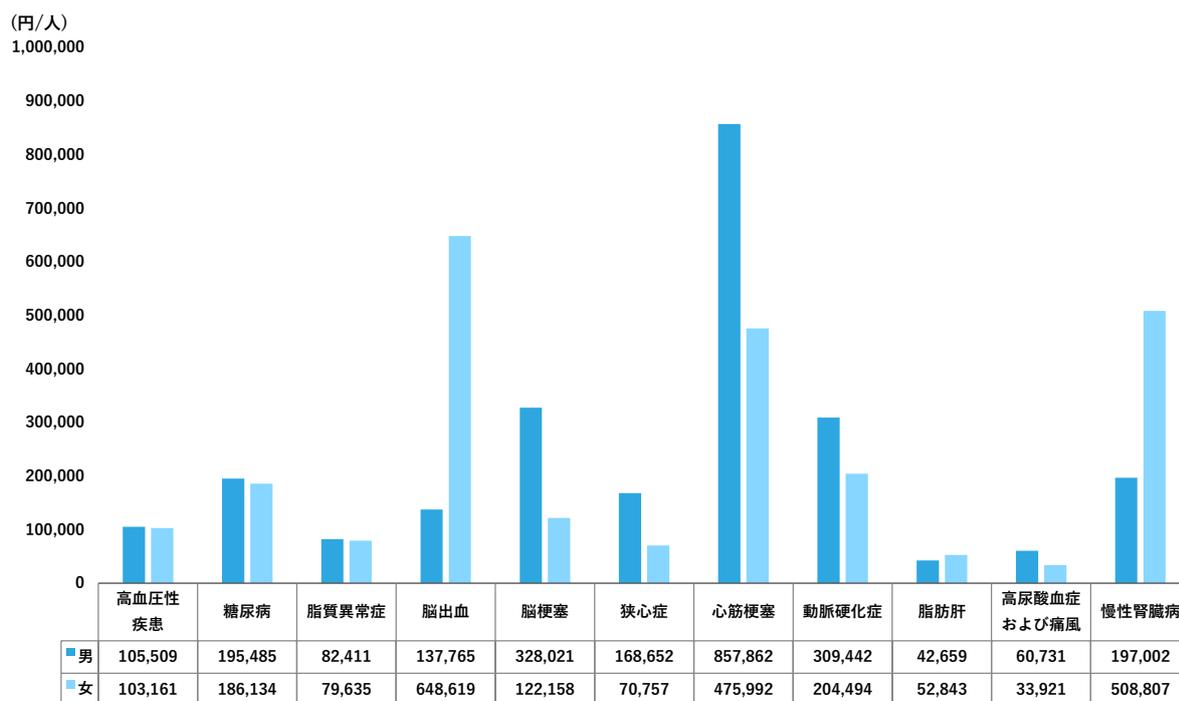
## 患者割合



## 加入者 1 人当たり医療費



## 患者 1 人当たり医療費



## 【全体】3-15.がんの経年推移

使用データ：レセプトデータ（医科、調剤）、加入者データ

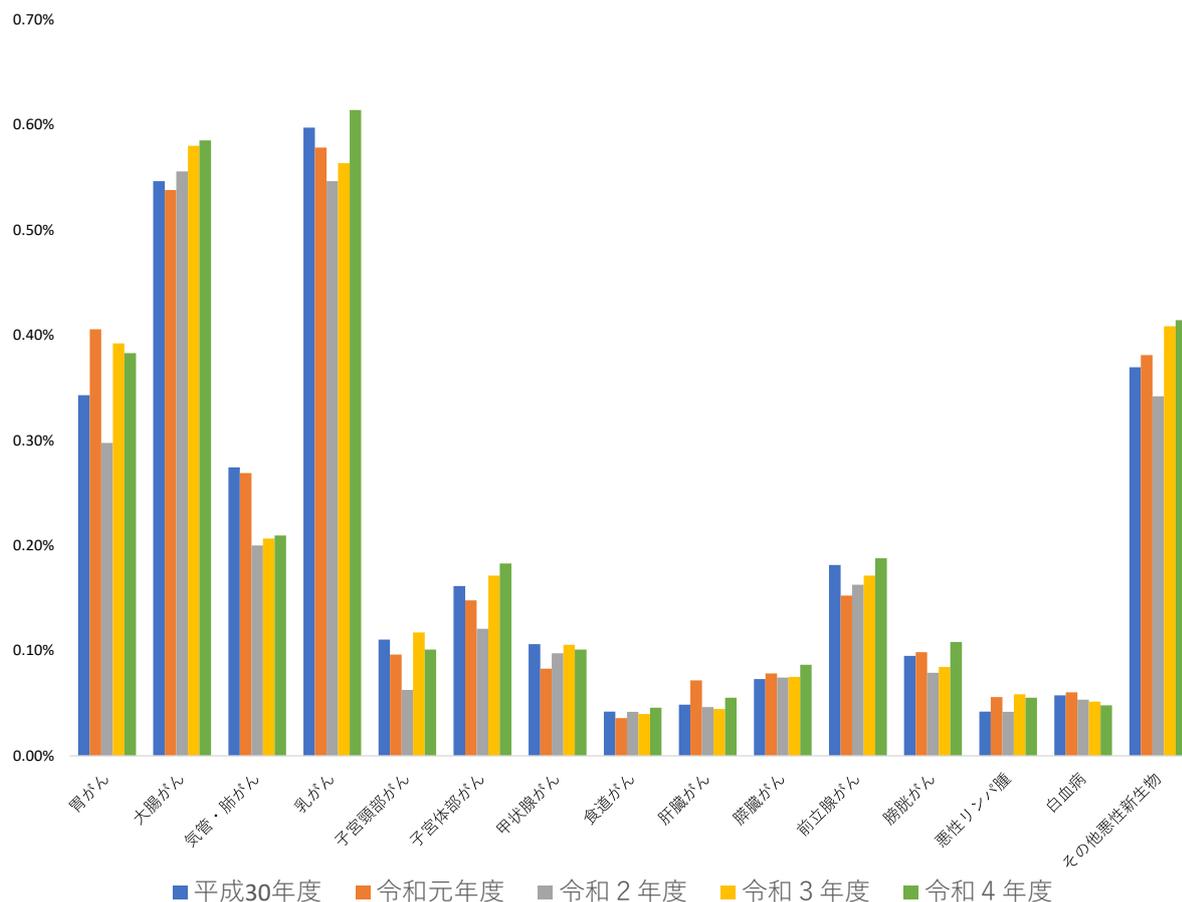
レセプトデータ使用年月：平成30年4月～令和4年3月診療

加入者データ使用年：平成30年度末～令和4年度末

主病を集計（医療費は調剤費を含む）

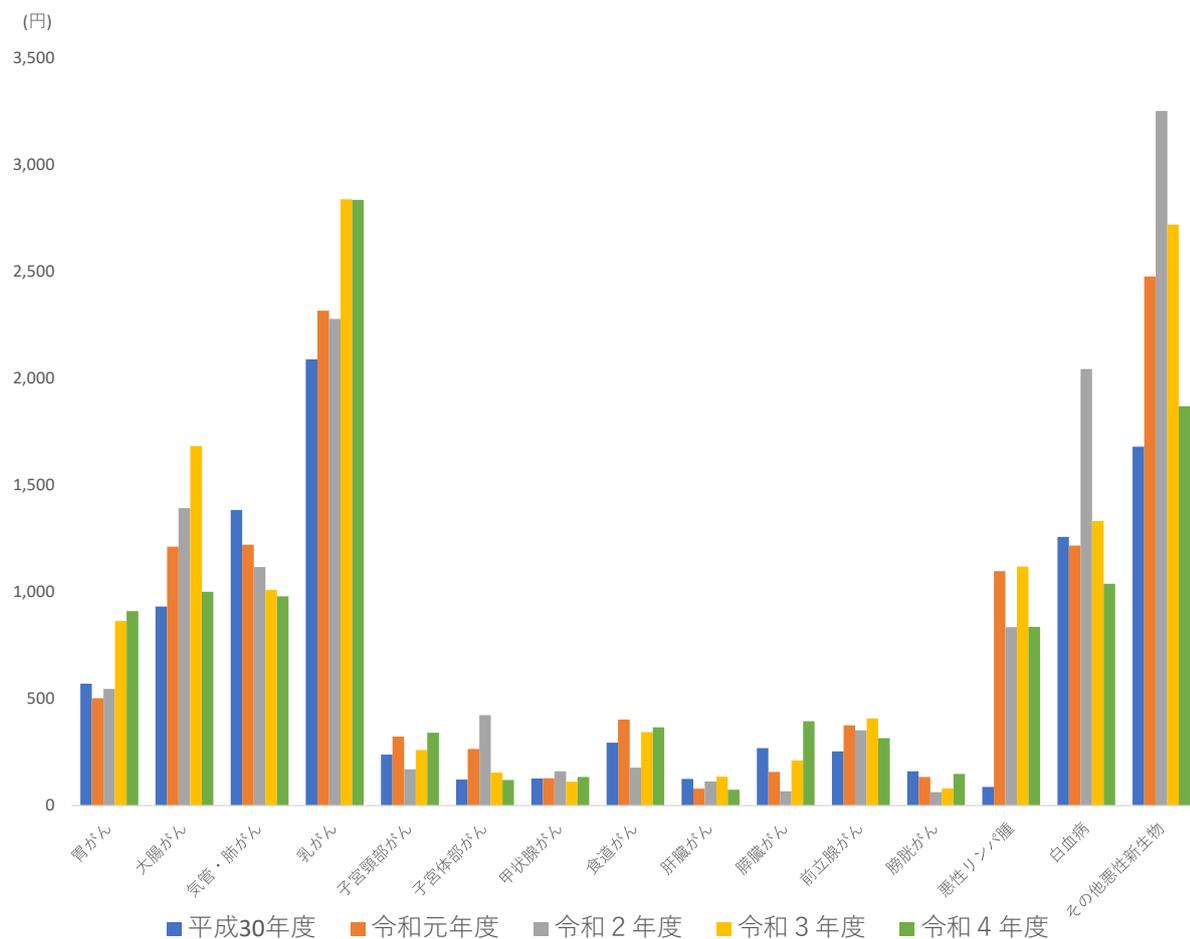
### 患者割合

疾患名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
胃がん	0.34%	0.41%	0.30%	0.39%	0.38%
大腸がん	0.55%	0.54%	0.56%	0.58%	0.59%
気管・肺がん	0.27%	0.27%	0.20%	0.21%	0.21%
乳がん	0.60%	0.58%	0.55%	0.56%	0.61%
子宮頸部がん	0.11%	0.10%	0.06%	0.12%	0.10%
子宮体部がん	0.16%	0.15%	0.12%	0.17%	0.18%
甲状腺がん	0.11%	0.08%	0.10%	0.11%	0.10%
食道がん	0.04%	0.04%	0.04%	0.04%	0.05%
肝臓がん	0.05%	0.07%	0.05%	0.04%	0.06%
膵臓がん	0.07%	0.08%	0.07%	0.08%	0.09%
前立腺がん	0.18%	0.15%	0.16%	0.17%	0.19%
膀胱がん	0.10%	0.10%	0.08%	0.08%	0.11%
悪性リンパ腫	0.04%	0.06%	0.04%	0.06%	0.06%
白血病	0.06%	0.06%	0.05%	0.05%	0.05%
その他悪性新生物	0.37%	0.38%	0.34%	0.41%	0.41%



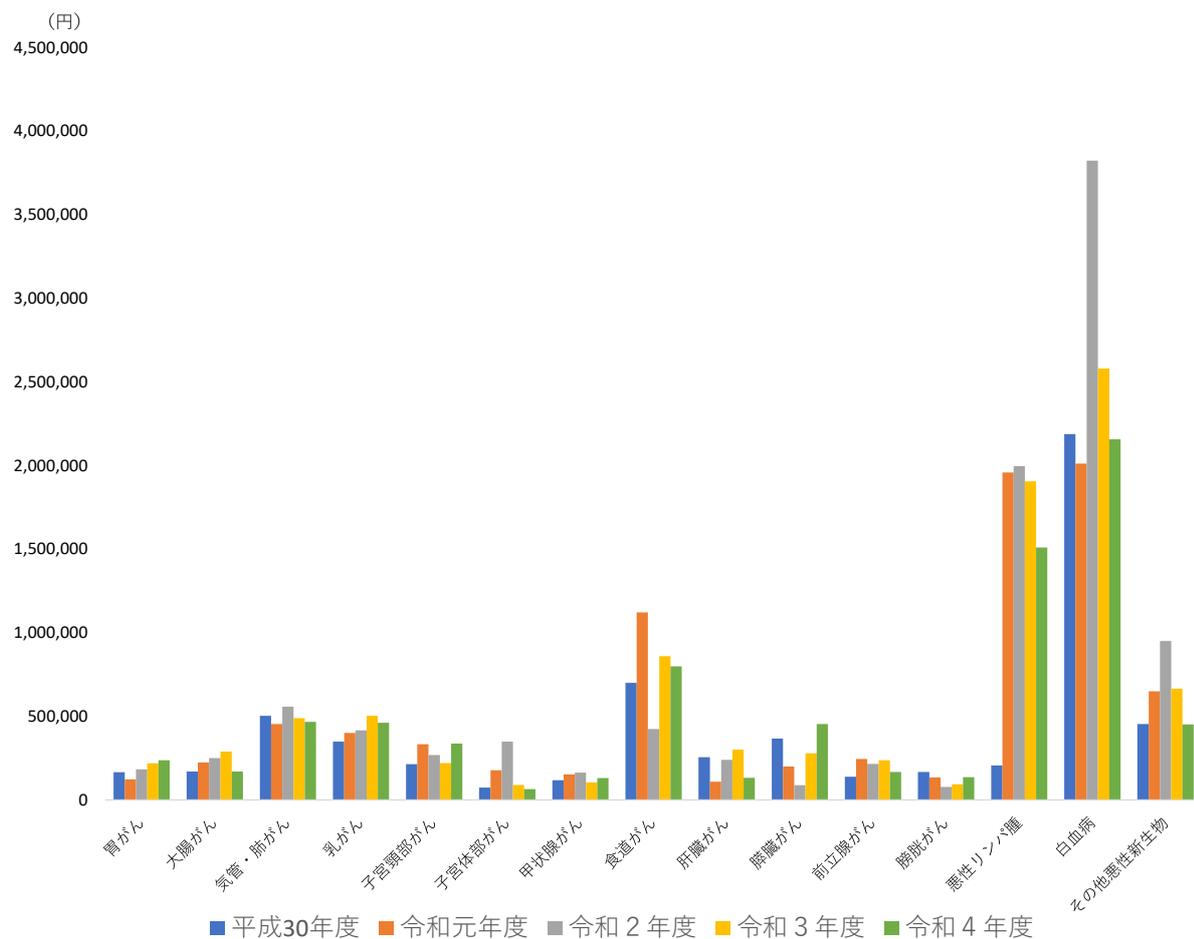
## 加入者1人当たり医療費の推移

疾患名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
胃がん	570	502	546	864	911
大腸がん	932	1,213	1,394	1,684	1,001
気管・肺がん	1,384	1,222	1,118	1,011	980
乳がん	2,090	2,318	2,279	2,840	2,837
子宮頸部がん	238	322	169	260	341
子宮体部がん	121	265	423	154	119
甲状腺がん	126	128	160	111	133
食道がん	295	402	178	344	366
肝臓がん	124	79	112	135	73
膵臓がん	268	157	67	210	394
前立腺がん	253	375	352	408	316
膀胱がん	160	134	62	79	148
悪性リンパ腫	87	1,098	836	1,119	837
白血病	1,259	1,218	2,045	1,333	1,039
その他悪性新生物	1,681	2,478	3,253	2,721	1,870



### 患者1人当たり医療費の推移

疾患名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
胃がん	166,236	123,734	183,486	220,449	237,947
大腸がん	170,581	225,460	250,720	290,280	171,067
気管・肺がん	504,478	454,295	558,773	489,164	467,624
乳がん	349,910	400,794	417,081	503,974	461,966
子宮頸部がん	215,165	334,488	268,773	221,347	337,230
子宮体部がん	75,007	178,873	349,652	89,621	65,030
甲状腺がん	118,803	154,060	163,896	105,044	131,896
食道がん	700,773	1,122,131	424,443	861,003	800,114
肝臓がん	255,715	109,946	240,627	301,543	132,522
膵臓がん	367,492	199,771	89,393	280,060	455,050
前立腺がん	139,694	246,158	216,251	238,246	168,254
膀胱がん	168,273	135,964	78,804	93,992	136,267
悪性リンパ腫	206,317	1,958,473	1,996,523	1,906,089	1,510,760
白血病	2,188,107	2,012,496	3,823,399	2,579,926	2,157,726
その他悪性新生物	454,900	650,396	951,691	665,915	451,437



## 【全体】 3-18.性別精神疾患の状況

使用データ：レセプトデータ（医科、調剤）、加入者データ

レセプトデータ使用年月：令和4年4月～令和5年3月診療

加入者データ使用年：令和4年度末

主病を集計（医療費は調剤費を含む）

### 精神疾患の状況

#### 全体

疾病名	加入者数 41,527人 総医療費 6,167,719千円					
	医療費(千円)	医療費割合	加入者1人当たり医療費(円)	患者数(人)	患者1人当たり医療費(円)	患者割合
神経症性障害	72,944	1.2%	1,757	935	78,015	2.3%
うつ病	75,060	1.2%	1,807	665	112,872	1.6%
統合失調症	57,103	0.9%	1,375	139	410,814	0.3%
認知症	26	0.0%	1	2	12,880	0.0%
その他の精神及び行動の障害	76,010	1.2%	1,830	561	135,490	1.4%

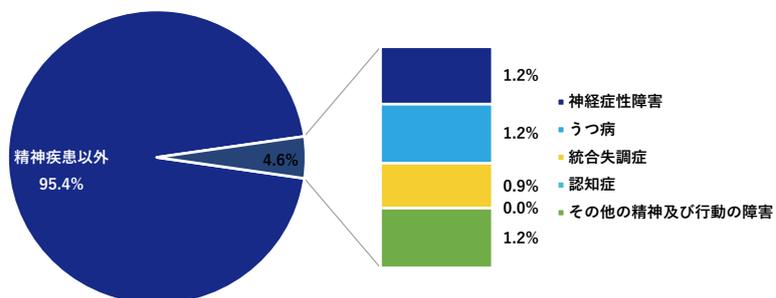
#### 男

疾病名	加入者数 23,627人 総医療費 3,414,132千円					
	医療費(千円)	医療費割合	加入者1人当たり医療費(円)	患者数(人)	患者1人当たり医療費(円)	患者割合
神経症性障害	34,942	1.0%	1,479	463	75,469	2.0%
うつ病	37,070	1.1%	1,569	349	106,218	1.5%
統合失調症	16,415	0.5%	695	44	373,060	0.2%
認知症	0	0.0%	0	0	0	0.0%
その他の精神及び行動の障害	47,672	1.4%	2,018	377	126,452	1.6%

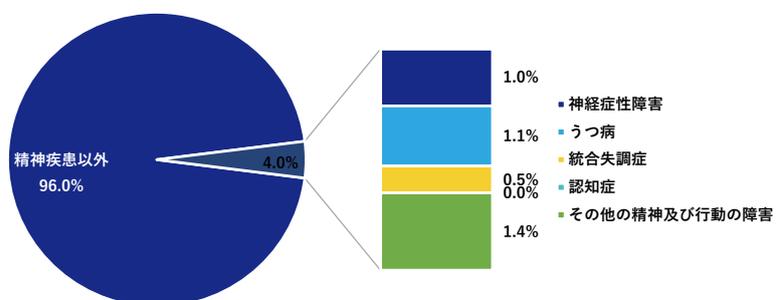
#### 女

疾病名	加入者数 17,900人 総医療費 2,753,587千円					
	医療費(千円)	医療費割合	加入者1人当たり医療費(円)	患者数(人)	患者1人当たり医療費(円)	患者割合
神経症性障害	38,002	1.4%	2,123	472	80,513	2.6%
うつ病	37,990	1.4%	2,122	316	120,220	1.8%
統合失調症	40,689	1.5%	2,273	95	428,300	0.5%
認知症	26	0.0%	1	2	12,880	0.0%
その他の精神及び行動の障害	28,338	1.0%	1,583	184	154,008	1.0%

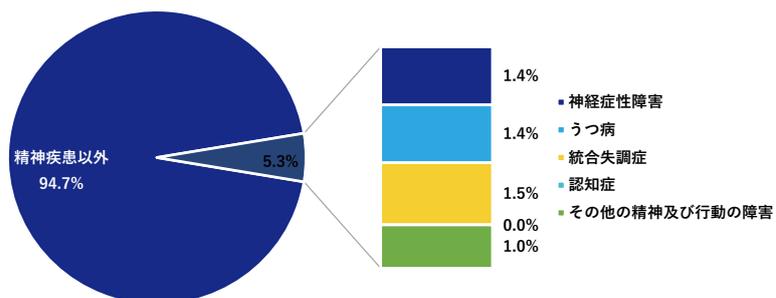
総医療費にみる精神疾患の医療費割合  
全体



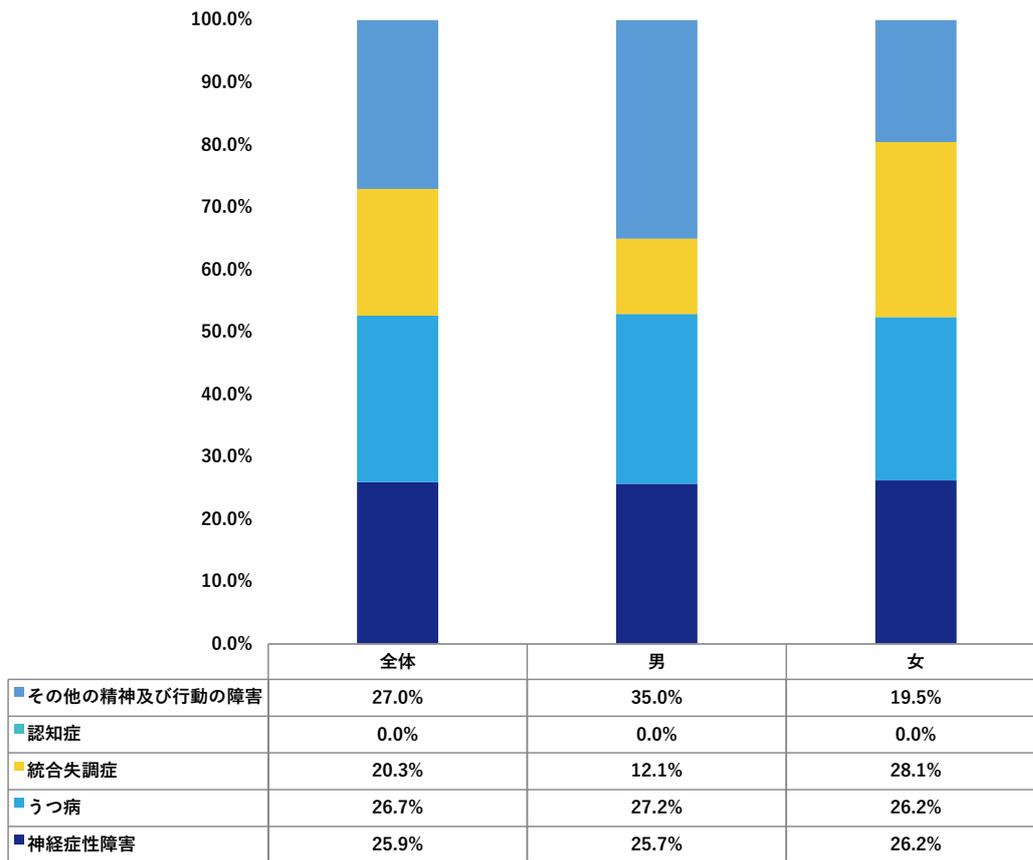
男



女

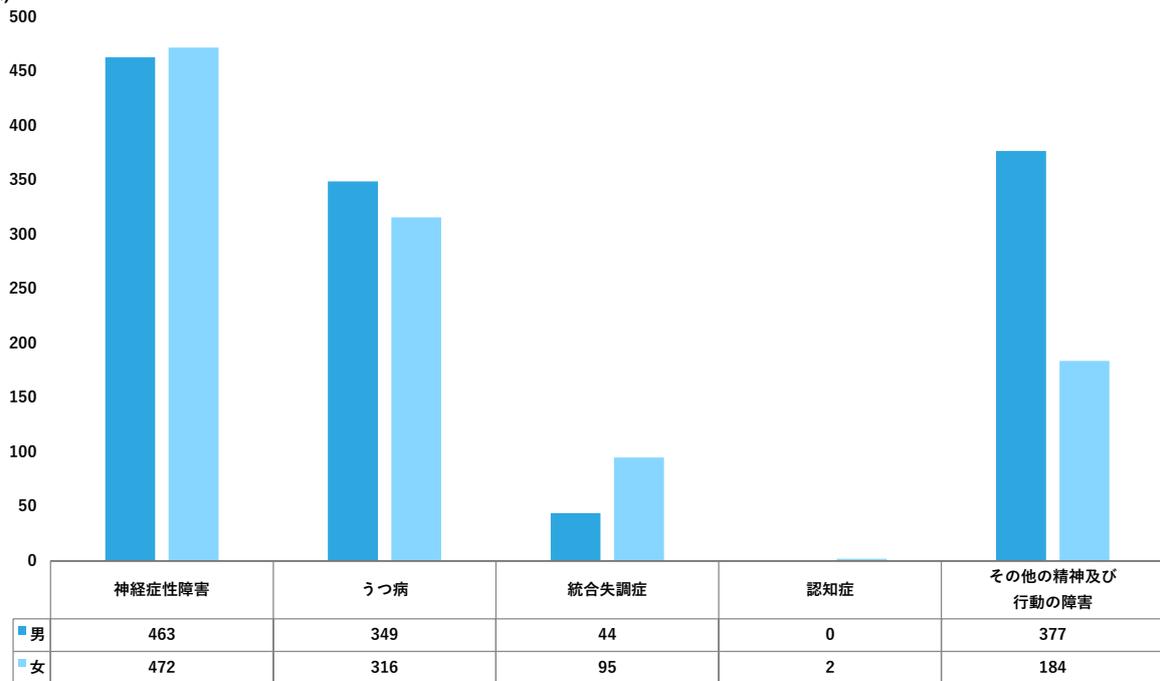


## 精神疾患の医療費割合



## 患者数

(人)



## 患者割合

3.0%

2.5%

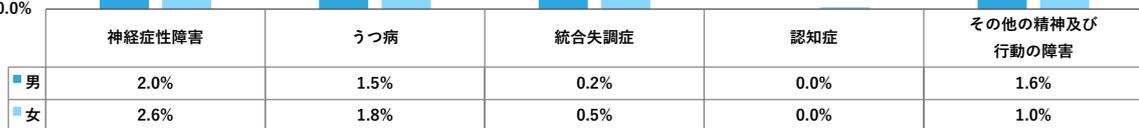
2.0%

1.5%

1.0%

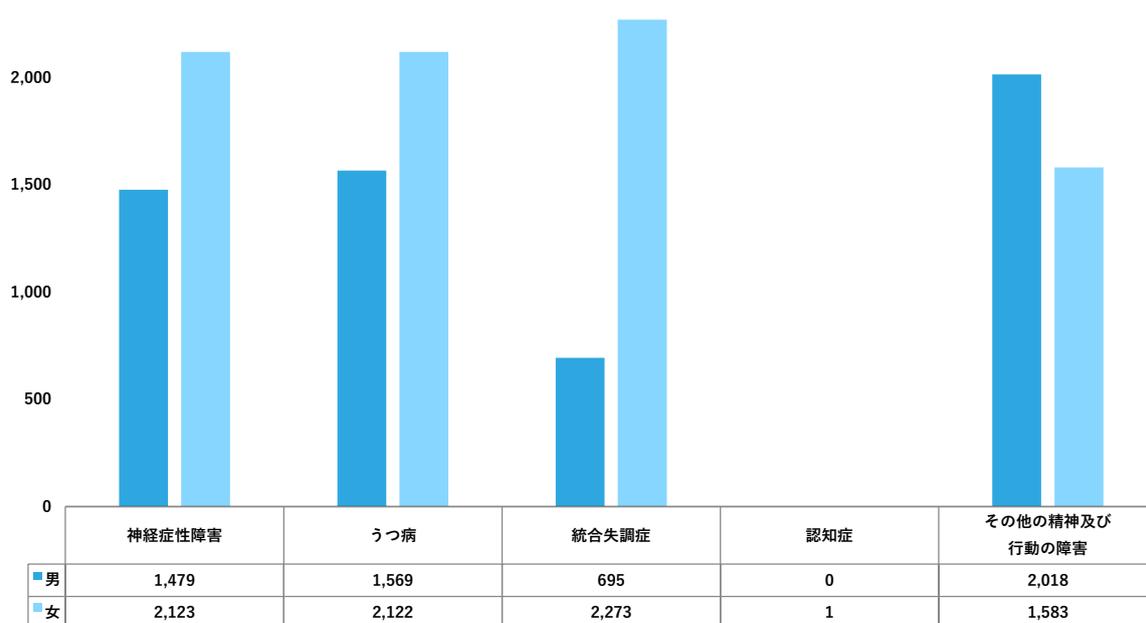
0.5%

0.0%



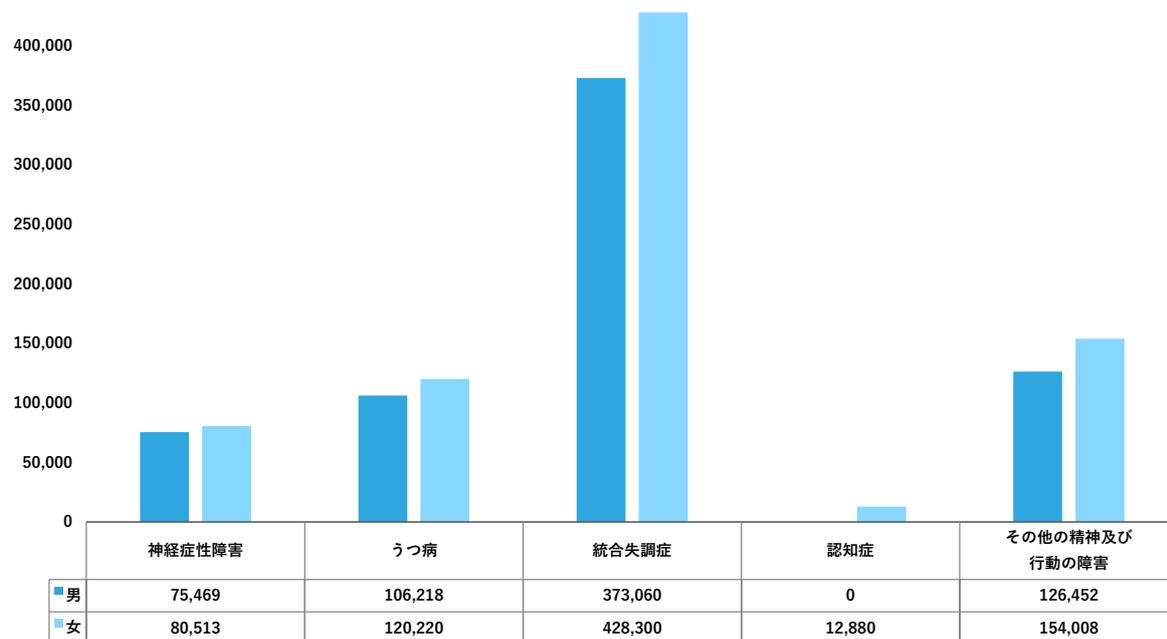
## 加入者 1 人当たり医療費

(円/人)  
2,500



## 患者 1 人当たり医療費

(円/人)  
450,000



## 【全体】 4-5.歯周病患者における生活習慣病の併発状況

使用データ：レセプトデータ（医科、歯科）

レセプトデータ使用年月：令和4年4月～令和5年3月診療

全傷病を集計

### 歯周病患者の生活習慣病併発状況

(人)

	全体	
	患者数	患者割合
高血圧性疾患	2,132	11.6%
糖尿病	1,279	6.9%
脂質異常症	2,409	13.1%
脳出血	25	0.1%
脳梗塞	137	0.7%
狭心症	319	1.7%
心筋梗塞	32	0.2%
動脈硬化症	214	1.2%
脂肪肝	471	2.6%
高尿酸血症および痛風	727	3.9%
慢性腎臓病	94	0.5%
生活習慣病なし	14,556	79.0%
歯周病患者全体	18,419	—

(人)

	男	
	患者数	患者割合
高血圧性疾患	1,401	14.5%
糖尿病	824	8.5%
脂質異常症	1,415	14.6%
脳出血	16	0.2%
脳梗塞	78	0.8%
狭心症	221	2.3%
心筋梗塞	26	0.3%
動脈硬化症	115	1.2%
脂肪肝	307	3.2%
高尿酸血症および痛風	668	6.9%
慢性腎臓病	62	0.6%
生活習慣病なし	7,366	76.2%
歯周病患者全体	9,669	—

(人)

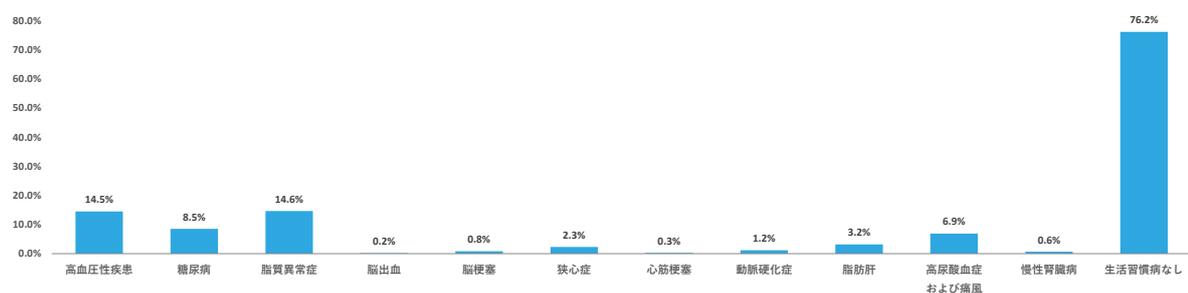
	女	
	患者数	患者割合
高血圧性疾患	731	8.4%
糖尿病	455	5.2%
脂質異常症	994	11.4%
脳出血	9	0.1%
脳梗塞	59	0.7%
狭心症	98	1.1%
心筋梗塞	6	0.1%
動脈硬化症	99	1.1%
脂肪肝	164	1.9%
高尿酸血症および痛風	59	0.7%
慢性腎臓病	32	0.4%
生活習慣病なし	7,190	82.2%
歯周病患者全体	8,750	—

## 歯周病患者の生活習慣病併発患者割合

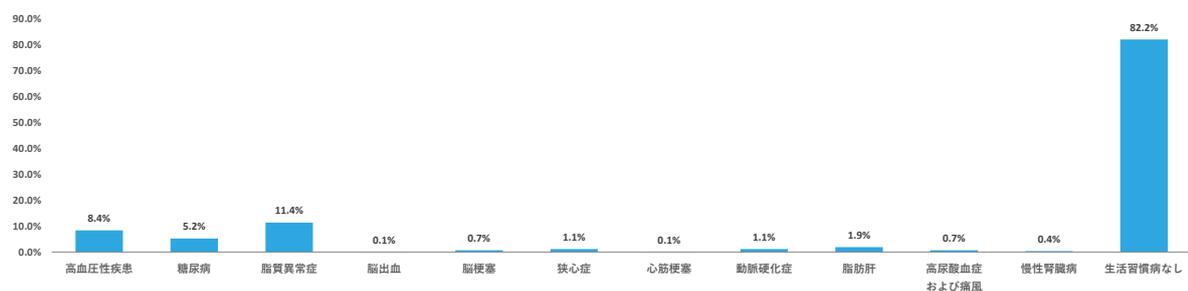
### 全体



### 男



### 女



## 【全体】 5-1.性別特定健診受診率

使用データ：加入者データ、健診データ

加入者データ使用年：平成30年～令和4年度末

健診データ使用年：平成30年～令和4年度

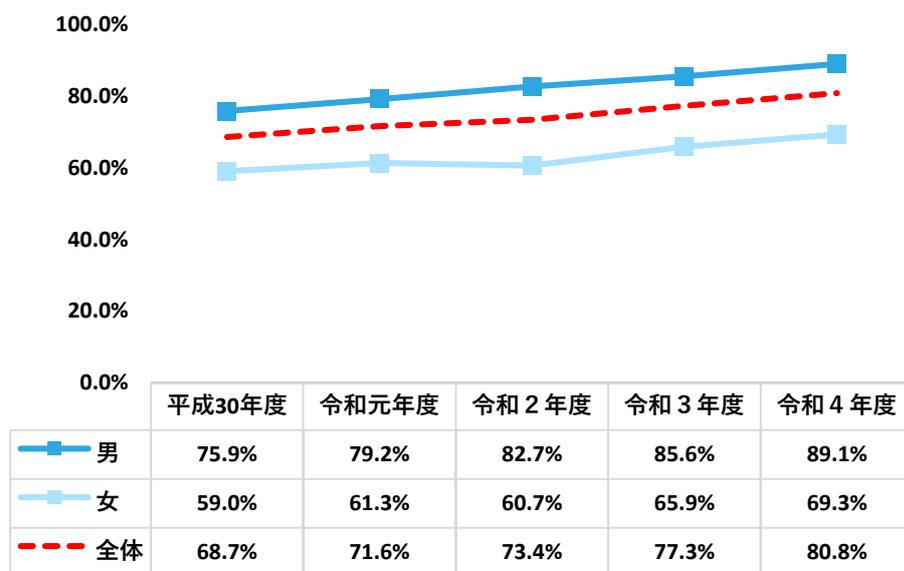
### 性別特定健診受診状況

(人)

	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	対象者数	受診者数								
全体	21,239	14,583	21,176	15,167	20,570	15,106	20,800	16,085	20,501	16,572
男	12,125	9,203	12,195	9,659	11,908	9,852	12,082	10,337	11,955	10,646
女	9,114	5,380	8,981	5,508	8,662	5,254	8,718	5,748	8,546	5,926

### 性別特定健診受診率

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
全体	68.7%	71.6%	73.4%	77.3%	80.8%
男	75.9%	79.2%	82.7%	85.6%	89.1%
女	59.0%	61.3%	60.7%	65.9%	69.3%



## 【全体】5-2.年齢階級別特定健診受診率

使用データ：加入者データ、健診データ

加入者データ使用年：令和4年度末

健診データ使用年：令和4年度

### 特定健診受診状況

(人)

	全年齢
対象者数	20,501
受診者数	16,572
受診率	80.8%

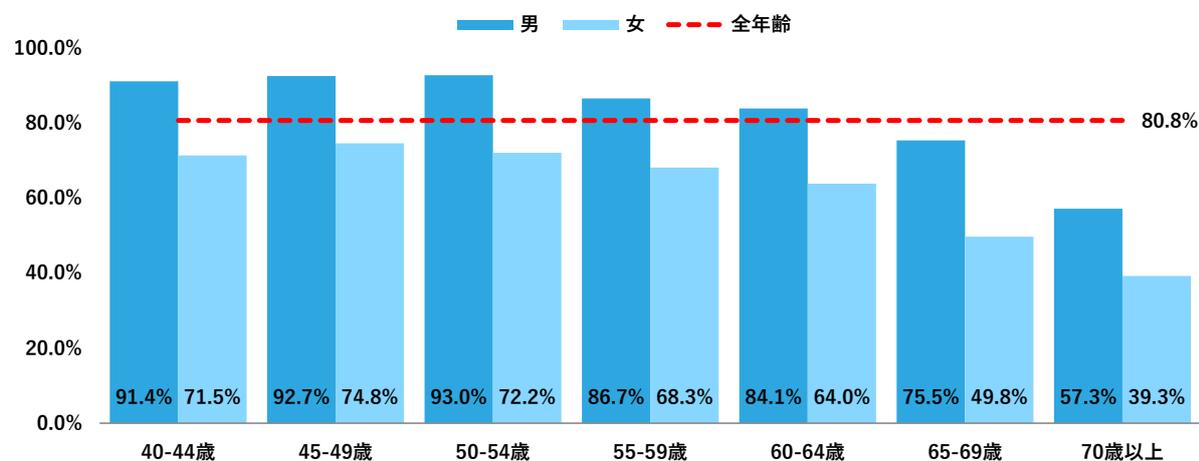
### 年齢階級別特定健診受診状況

(人)

		40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
男	対象者数	2,037	2,511	2,889	2,332	1,527	474	185
	受診者数	1,861	2,328	2,686	2,023	1,284	358	106
女	対象者数	1,609	1,941	2,012	1,503	930	317	234
	受診者数	1,151	1,451	1,453	1,026	595	158	92
合計	対象者数	3,646	4,452	4,901	3,835	2,457	791	419
	受診者数	3,012	3,779	4,139	3,049	1,879	516	198

### 年齢階級別特定健診受診率

	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
男	91.4%	92.7%	93.0%	86.7%	84.1%	75.5%	57.3%
女	71.5%	74.8%	72.2%	68.3%	64.0%	49.8%	39.3%



### 【全体】 5-10.肥満解消率

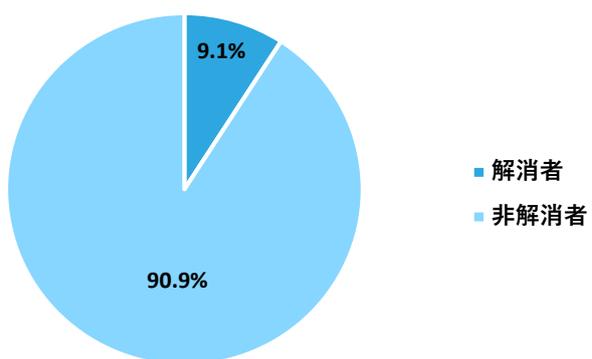
使用データ：健診データ

健診データ使用年：令和3年度、令和4年度

肥満解消率

(人)

	対象者	解消者	解消率
肥満	6,691	610	9.1%



## 【全体】 5-12.生活習慣リスク保有率

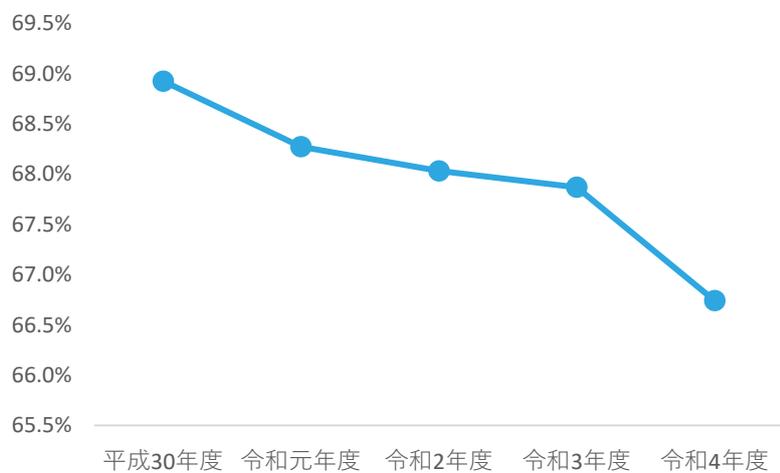
使用データ：健診データ

健診データ使用年月：平成30年度～令和4年度

### 運動習慣のリスク保有率

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
回答者数(人)	17,851	17,770	17,180	17,491	17,454
該当者数(人)	12,304	12,132	11,688	11,871	11,649
該当率	68.9%	68.3%	68.0%	67.9%	66.7%

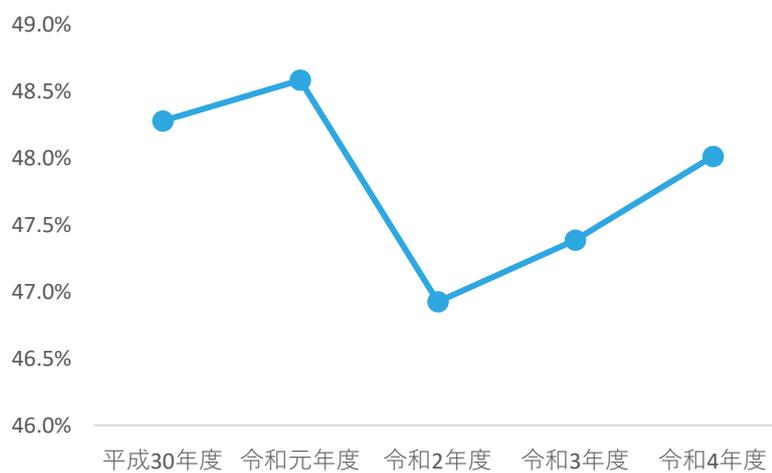
### 運動習慣リスク



食事習慣のリスク保有率

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
回答者数(人)	17,367	17,445	17,061	17,270	17,271
該当者数(人)	8,385	8,476	8,006	8,184	8,293
該当率	48.3%	48.6%	46.9%	47.4%	48.0%

食事習慣リスク



### 飲酒習慣のリスク保有率

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
回答者数(人)	17,788	17,709	17,130	17,485	17,448
該当者数(人)	1,990	1,990	1,815	1,691	1,764
該当率	11.2%	11.2%	10.6%	9.7%	10.1%

### 飲酒習慣リスク



### 睡眠習慣のリスク保有率

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
回答者数(人)	17,864	17,785	17,191	17,498	17,468
該当者数(人)	7,541	7,399	6,318	6,592	6,610
該当率	42.2%	41.6%	36.8%	37.7%	37.8%

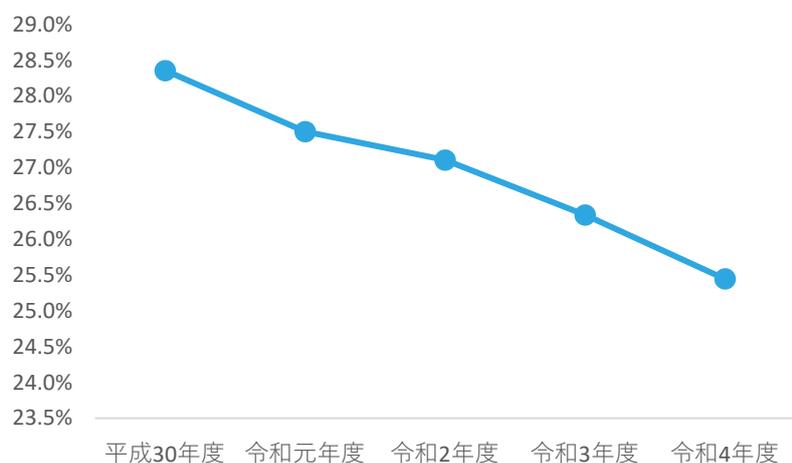
### 睡眠習慣リスク



### 喫煙率

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
回答者数(人)	18,253	18,068	17,486	17,811	17,740
該当者数(人)	5,176	4,969	4,740	4,691	4,514
該当率	28.4%	27.5%	27.1%	26.3%	25.4%

### 喫煙









## 【全体】5-19.年齢階級別・健診受診有無別医療費

使用データ：レセプトデータ（医科、歯科、調剤）、加入者データ、健診データ

レセプトデータ使用年月：令和4年4月～令和5年3月診療

加入者データ使用年：令和4年度末

健診データ使用年：令和4年度

健診あり：年度末時点で資格保有の健診情報のみ対象とする

### 年齢階級別・健診受診有無別医療費

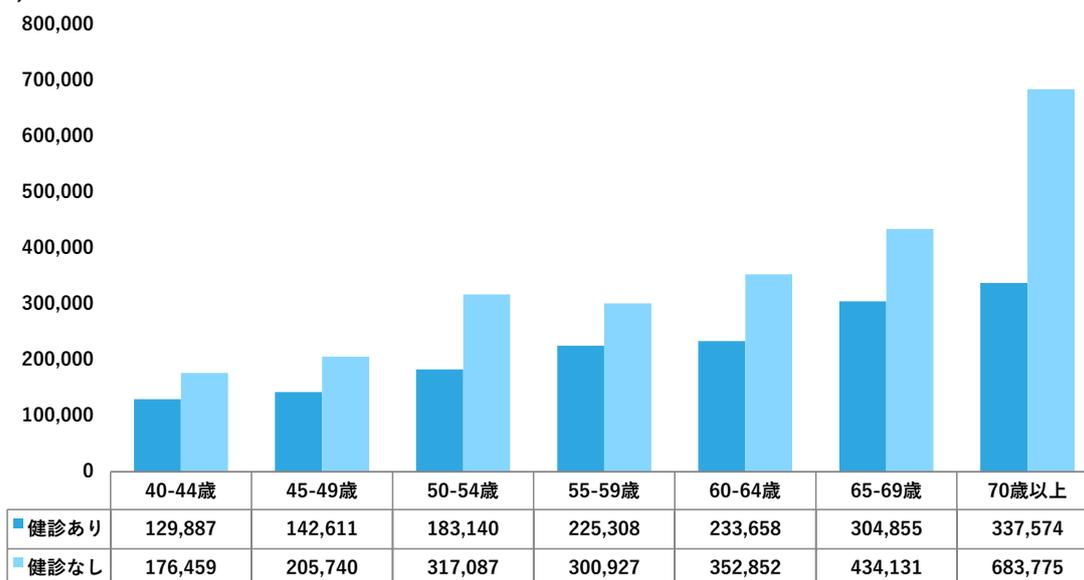
		40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
健診あり	総医療費(千円)	391,218	538,928	758,015	686,964	439,044	157,305	66,840
	対象者数(人)	3,012	3,779	4,139	3,049	1,879	516	198
健診なし	総医療費(千円)	111,875	138,463	241,620	236,529	203,949	119,386	151,114
	対象者数(人)	634	673	762	786	578	275	221

### 年齢階級別・健診受診有無別1人当たり医療費

(円)

	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
健診あり	129,887	142,611	183,140	225,308	233,658	304,855	337,574
健診なし	176,459	205,740	317,087	300,927	352,852	434,131	683,775

(円/人)



## 【全体】6-1.特定保健指導対象者割合

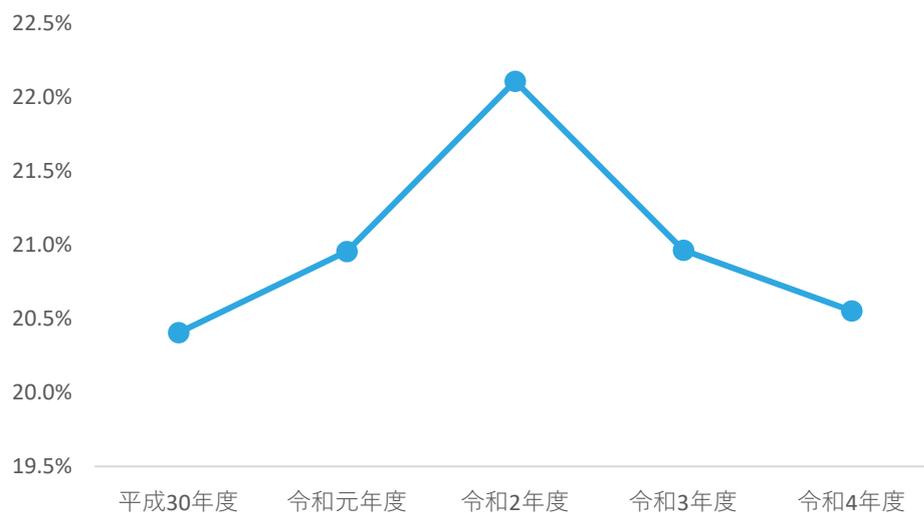
使用データ：健診データ

健診データ使用年月：平成30年～令和4年度

### 特定保健指導対象者割合

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
特定健康診査受診者数(人)	18,260	18,072	17,487	17,811	17,740
特定保健指導対象者数(人)	3,726	3,787	3,866	3,734	3,646
特定保健指導対象者割合	20.4%	21.0%	22.1%	21.0%	20.6%

### 特定保健指導対象者割合の年度推移



## 【全体】6-2.性別特定保健指導終了率

使用データ：健診データ、保健指導データ

健診データ使用年：平成30年～令和4年度

保健指導データ使用年：平成30年～令和4年度

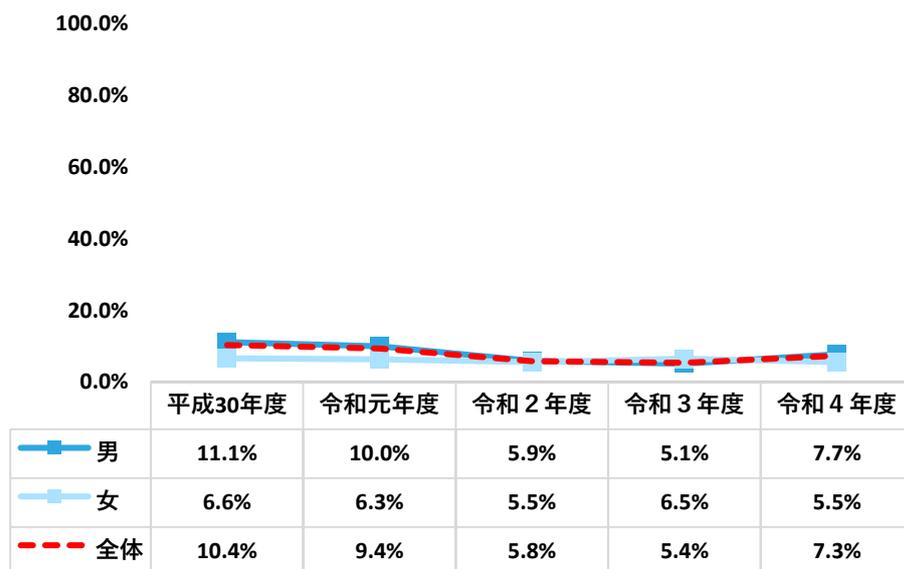
### 性別特定保健指導終了状況

(人)

	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	対象者数	終了者数	対象者数	終了者数	対象者数	終了者数	対象者数	終了者数	対象者数	終了者数
全体	3,726	386	3,787	355	3,866	225	3,734	200	3,646	267
男	3,121	346	3,139	314	3,234	190	3,039	155	2,960	229
女	605	40	648	41	632	35	695	45	686	38

### 性別特定保健指導終了率

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
全体	10.4%	9.4%	5.8%	5.4%	7.3%
男	11.1%	10.0%	5.9%	5.1%	7.7%
女	6.6%	6.3%	5.5%	6.5%	5.5%



## 【全体】6-3.年齢階級別特定保健指導終了率

使用データ：健診データ、保健指導データ

健診データ使用年：令和4年度

保健指導データ使用年：令和4年度

### 特定保健指導終了状況

(人)

全年齢	
対象者数	3,646
終了者数	267
終了率	7.3%

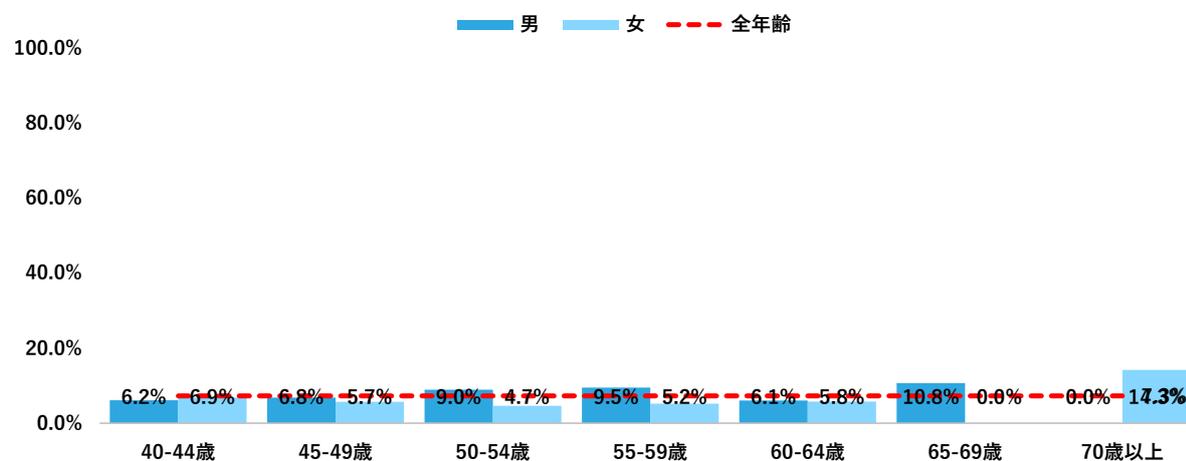
### 年齢階級別特定保健指導終了状況

(人)

		40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
男	対象者数	549	717	804	526	279	65	20
	終了者数	34	49	72	50	17	7	0
女	対象者数	102	174	192	134	69	8	7
	終了者数	7	10	9	7	4	0	1
合計	対象者数	651	891	996	660	348	73	27
	終了者数	41	59	81	57	21	7	1

### 年齢階級別特定保健指導終了率

	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
男	6.2%	6.8%	9.0%	9.5%	6.1%	10.8%	0.0%
女	6.9%	5.7%	4.7%	5.2%	5.8%	0.0%	14.3%



## 【全体】 7-1.後発医薬品使用率の経年推移

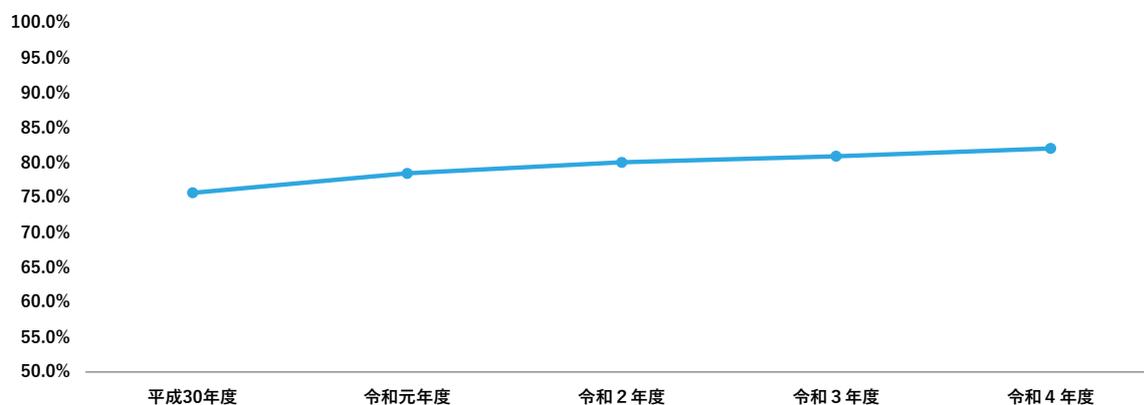
使用データ：レセプトデータ（医科、歯科、調剤）

レセプトデータ使用年月：平成30年4月～令和5年3月診療

### 数量ベース後発医薬品使用率

	医科	歯科	調剤	全体
平成30年度	59.8%	40.2%	79.1%	75.7%
令和元年度	65.1%	46.8%	81.4%	78.5%
令和2年度	64.3%	47.0%	82.9%	80.0%
令和3年度	65.1%	47.7%	83.6%	80.9%
令和4年度	66.0%	49.2%	84.5%	82.0%

### 数量ベース後発医薬品使用率の経年推移（全体）



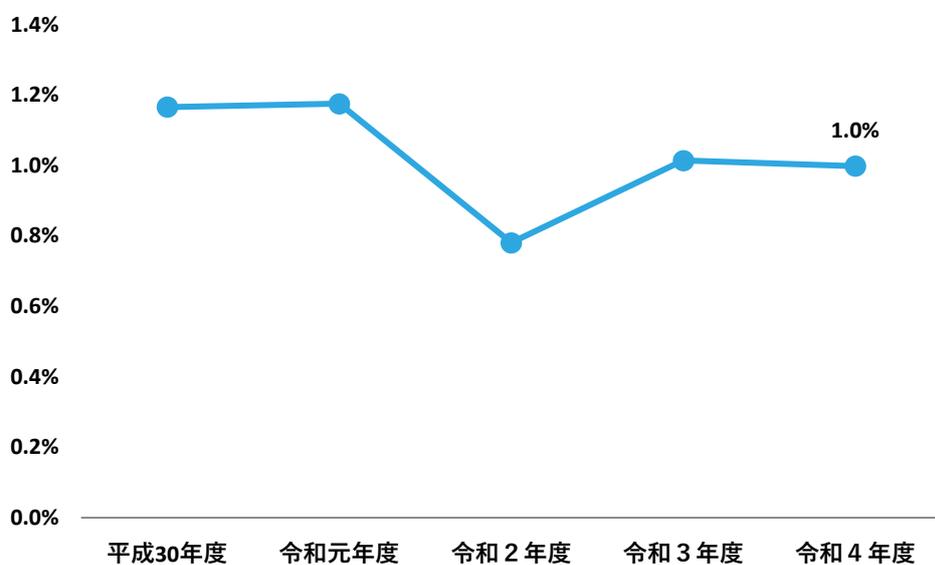
## 【全体】 7-4.重複受診の経年推移

使用データ：レセプトデータ（医科）

レセプトデータ使用年月：平成30年4月～令和5年3月診療

### 重複受診状況の推移

	医療機関 受診者数 (人)	重複受診者数 (人)	重複受診 割合	重複受診 発生件数(件)
平成30年度	37,828	441	1.2%	612
令和元年度	37,001	435	1.2%	656
令和2年度	32,161	251	0.8%	360
令和3年度	34,322	348	1.0%	547
令和4年度	34,860	348	1.0%	562



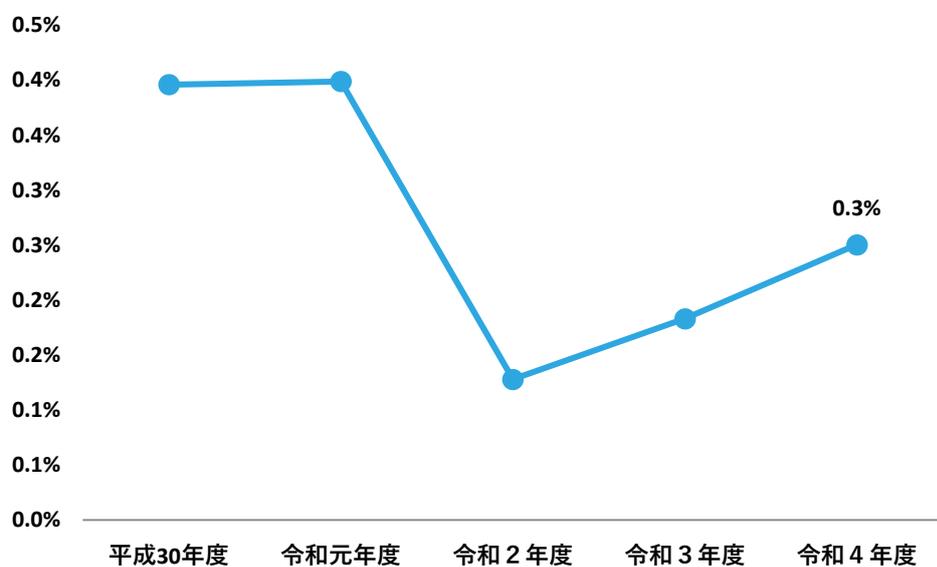
## 【全体】 7-8.重複服薬の経年推移

使用データ：レセプトデータ（医科、調剤）

レセプトデータ使用年月：平成30年4月～令和5年3月診療

### 重複投薬状況の推移

	加入者数 (人)	重複投薬者数 (人)	重複投薬 割合	重複投薬 レセプト件数 (件)
平成30年度	45,195	179	0.4%	301
令和元年度	44,612	178	0.4%	322
令和2年度	43,000	55	0.1%	127
令和3年度	42,588	78	0.2%	174
令和4年度	41,527	104	0.3%	203



## 【全体】 7-12.相互作用服薬状況

使用データ：レセプトデータ（医科、調剤）

レセプトデータ使用年月：令和4年4月～令和5年3月診療

### 併用禁忌薬剤使用状況

(人)

投薬者数	33,520
併用禁忌 薬剤使用者数	19
併用禁忌 割合	0.06%

### 薬効分類別併用禁忌薬剤使用状況

(件)

順位	薬効分類		発生件数
	コード	名称	
1	119	その他の中枢神経系用薬	15
2	216	血管収縮剤	8
3	232	消化性潰瘍用剤	7
4	113	抗てんかん剤	6
5	259	その他の泌尿生殖器官及び肛門用薬	6
6	214	血圧降下剤	5
7	235	下剤、浣腸剤	4
8	613	主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの	4
9	614	主としてグラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	4
10	322	無機質製剤	2

薬効分類別併用禁忌薬剤組み合わせ使用状況

(件)

順位	薬効分類 1		薬効分類 2		発生件数
	コード	名称	コード	名称	
1	119	その他の中枢神経系用薬	232	消化性潰瘍用剤	7
2	113	抗てんかん剤	259	その他の泌尿生殖器官及び肛門用薬	6
3	119	その他の中枢神経系用薬	613	主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの	4
4	214	血圧降下剤	235	下剤、浣腸剤	4
5	216	血管収縮剤	216	血管収縮剤	4
6	119	その他の中枢神経系用薬	614	主としてグラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	3
7	117	精神神経用剤	614	主としてグラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	1
8	118	総合感冒剤	629	その他の化学療法剤	1
9	119	その他の中枢神経系用薬	619	その他の抗生物質製剤（複合抗生物質製剤を含む）	1
10	214	血圧降下剤	322	無機質製剤	1

## STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき課題
1	ウ, エ, オ, カ, テ	<ul style="list-style-type: none"> <li>総医療費、加入者1人あたり医療費どちらも男性より女性のほうが高い</li> <li>65歳以上の医療費の増加率が大きく、70歳以上の医療費が高い</li> <li>40歳以上の健診未受診者の医療費が高い。</li> </ul>	➔	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定健診やがん検診の利用を促進する。</li> <li>疾病の早期発見、早期治療の必要性の啓発を行う。</li> <li>加入者への医療費増加の情報提供と適正受診・後発医薬品使用の推進。</li> </ul>	
2	キ, ク, ケ, タ, チ, ツ	<ul style="list-style-type: none"> <li>加齢に伴う疾病発症、重症化による医療費の増加</li> <li>特に被保険者の生活習慣病罹患者と重症化の増加</li> <li>医療機関受診中でもコントロール不良者が一定数いる。</li> <li>医療機関受診につながっていない者も一定数いる。</li> </ul>	➔	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定健診やがん検診の利用を促進する。</li> <li>生活習慣病重症化予防の啓発や重症化予防の保健指導などの実施</li> <li>重症化リスクが高い者への（医療機関）受診勧奨を実施する。</li> <li>適正受診についての啓発を実施する。</li> </ul>	✓
3	シ, ス, セ, ソ, ト, ナ, ニ	<ul style="list-style-type: none"> <li>被扶養者の特定健診受診率が低い。</li> <li>特定保健指導を受ける方が少ない。</li> <li>特定保健指導終了率が低い。</li> </ul>	➔	<ul style="list-style-type: none"> <li>健診未受診者に対して、受診の必要性の啓発や受診勧奨を行う。</li> <li>受診しやすい環境づくりを強化する。</li> <li>特定保健指導については、対象者全員に案内をするとともに、利用しやすい指導方法や指導業者等を積極的に導入する。</li> </ul>	✓
4	コ	<ul style="list-style-type: none"> <li>メンタルヘルスに対する啓発と情報提供の不足</li> </ul>	➔	<ul style="list-style-type: none"> <li>相談の方法や相談機関情報の提供を行う。</li> </ul>	✓
5	サ	<ul style="list-style-type: none"> <li>歯科予防に対する対策不足の懸念</li> </ul>	➔	<ul style="list-style-type: none"> <li>歯科健診の受診勧奨を行う。</li> </ul>	✓
6	ヌ	<ul style="list-style-type: none"> <li>医科、歯科でのジェネリック医薬品の使用率が低い</li> <li>一部の方にジェネリック医薬品使用への抵抗感がある</li> <li>未成年が単独で受診した際に、後発医薬品を使用する申し出ができていない可能性が高い</li> </ul>	➔	<ul style="list-style-type: none"> <li>後発医薬品差額通知の送付により、啓発を実施する。</li> </ul>	✓

## 基本情報

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	<p>加入者数は年々減少しており、被保険者より被扶養者の減少率が大きい。年少（15歳未満）、生産年齢（15-39歳）が減少しており、生産年齢（40-64歳）、前期高齢者（65歳以上）は年度で増減があるものの減少傾向にある。被保険者に占める前期高齢者の割合は、令和2年度を除き増加傾向である。</p> <p>男性が女性の約1.3倍で、40歳以上は全体の約半数、被保険者では約7割を占める。被保険者は男性が女性の約3倍多く、被扶養者は女性が男性の約2倍多い。</p> <p>被保険者は、男性では40-59歳が多く、女性では25-54歳が多い。被扶養者は0-24歳までで約6割を占め、25歳以上では約8割が女性である。40歳以上のほとんどは女性が占める。</p>	➔	<ul style="list-style-type: none"> <li>加入者への情報提供（加齢と疾患・医療費増加の現状の周知、早期治療によるメリットと重症化によるデメリットの見える化）</li> <li>管理者との情報共有（被保険者の男女別年齢構成、加齢と疾患・医療費増加の現状の周知、早期治療によるメリットと重症化によるデメリットの共有）</li> </ul>

## 保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
-----	----	--	--------------

1

・被保険者の健診受診率が高いが、被扶養者の健診受診率や特定保健指導の実施率は不十分である。



・特定保健指導の実施率を上げるための対策を検討する。  
・情報の届きにくい被扶養者への情報提供を強化する。

## STEP 3 保健事業の実施計画

### 事業全体の目的

- ・生活習慣病の重症化の予防。
- ・特定健診、特定保健指導の受診率向上。
- ・精神疾患の減少。
- ・医療費(医薬品)の削減。

### 事業全体の目標

- ・高リスク者に対し、案内の発送や可能な範囲で保健指導を実施したい。
- ・受診体制の強化。
- ・対象者への案内・周知の強化。
- ・対象者個人だけではなく、事業所と連携して取り組みたい。

### 事業の一覧

#### 職場環境の整備

保健指導宣伝	健康管理委員会
--------	---------

#### 加入者への意識づけ

保健指導宣伝	機関誌・ホームページによる健康啓発、健康情報、健保情報の提供
--------	--------------------------------

#### 個別の事業

特定健康診査事業	特定健診
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	健康管理事業推進委員会
保健指導宣伝	医療費通知発行
保健指導宣伝	ジェネリック医薬品軽減額通知の発行
保健指導宣伝	生活習慣病重症化予防
保健指導宣伝	健診未受診者通知の発送
疾病予防	簡易生活習慣病健診
疾病予防	生活習慣病健診
疾病予防	人間ドック
疾病予防	婦人生活習慣病健診
疾病予防	メンタルヘルス相談
疾病予防	インフルエンザ予防接種補助
疾病予防	歯科健診
直営保養所	保養所
その他	契約旅館
その他	固定施設

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度		
アウトプット指標												アウトカム指標								
職場環境の整備																				
保健指導宣伝	5	既存	健康管理委員会	全て	男女	18～74	加入者全員	1	ス			シ		500	-	-	-	-	・健康保持・増進をメインとした講演を、毎年テーマを変えて実施し、健康保持・増進に役立ててもらう。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
														講師を招き、健康全般に関する講演会を開催する。	講師を招き、健康全般に関する講演会を開催する。	講師を招き、健康全般に関する講演会を開催する。	講師を招き、健康全般に関する講演会を開催する。	講師を招き、健康全般に関する講演会を開催する。		
実施率(【実績値】60% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)・健康管理委員向けに年1回実施。												参加率(【実績値】60% 【目標値】令和6年度：50% 令和7年度：50% 令和8年度：50% 令和9年度：50% 令和10年度：50% 令和11年度：50%)・定員に対する参加率向上								
加入者への意識づけ																				
保健指導宣伝	2	既存	機関誌・ホームページによる健康啓発、健康情報、健保情報の提供	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	1	エ,ス			シ		11,104	-	-	-	-	・当組合の事業や情報等を組合員に提供する。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
														・健康啓発、健康情報、健保情報の提供。 ・機関誌発行(年4回)	・健康啓発、健康情報、健保情報の提供。 ・機関誌発行(年4回)	・健康啓発、健康情報、健保情報の提供。 ・機関誌発行(年4回)	・健康啓発、健康情報、健保情報の提供。 ・機関誌発行(年4回)	・健康啓発、健康情報、健保情報の提供。 ・機関誌発行(年4回)		
配付率(【実績値】80% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)・被保険者全員に機関誌を配付(年4回)												利用率(【実績値】80% 【目標値】令和6年度：50% 令和7年度：50% 令和8年度：50% 令和9年度：50% 令和10年度：50% 令和11年度：50%)・被保険者全員に機関誌を配付								
個別の事業																				
特定健康診査事業	2,3	既存(法定)	特定健診	全て	男女	40～74	基準該当者	1	ウ			カ,シ		116,534	-	-	-	-	被扶養者の特定健康診査の実施率の向上。	・被扶養者の特定健診受診率が低い。 ・特定保健指導を受ける方が少ない。 ・特定保健指導終了率が低い。
														・生活習慣病予防のために実施。 ・特定健診の受診機会を提供。	・生活習慣病予防のために実施。 ・特定健診の受診機会を提供。	・生活習慣病予防のために実施。 ・特定健診の受診機会を提供。	・生活習慣病予防のために実施。 ・特定健診の受診機会を提供。	・生活習慣病予防のために実施。 ・特定健診の受診機会を提供。		
送付率(【実績値】82% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)・当組合で定めた対象者全員に健診実施案内を送付する。												受診率(【実績値】82% 【目標値】令和6年度：86% 令和7年度：86% 令和8年度：87% 令和9年度：87% 令和10年度：88% 令和11年度：88%)・令和6年度における特定健康診査の実施率を86%とする。								
特定保健指導事業	2,4	既存(法定)	特定保健指導	全て	男女	40～74	基準該当者	1	エ,オ,コ,ス			ア,カ,シ		10,100	-	-	-	-	・特定保健指導の実施率を令和11年度までに30%にする。	・被扶養者の特定健診受診率が低い。 ・特定保健指導を受ける方が少ない。 ・特定保健指導終了率が低い。
														・特定健康診査の結果により、特定保健指導の対象者となられた方に特定保健指導を実施。 ・生活習慣の改善を働きかける。	・特定健康診査の結果により、特定保健指導の対象者となられた方に特定保健指導を実施。 ・生活習慣の改善を働きかける。	・特定健康診査の結果により、特定保健指導の対象者となられた方に特定保健指導を実施。 ・生活習慣の改善を働きかける。	・特定健康診査の結果により、特定保健指導の対象者となられた方に特定保健指導を実施。 ・生活習慣の改善を働きかける。	・特定健康診査の結果により、特定保健指導の対象者となられた方に特定保健指導を実施。 ・生活習慣の改善を働きかける。		
実施率(【実績値】8% 【目標値】令和6年度：90% 令和7年度：90% 令和8年度：90% 令和9年度：90% 令和10年度：90% 令和11年度：90%)・特定保健指導の対象者全員に案内を送付する。												実施率(【実績値】8% 【目標値】令和6年度：10% 令和7年度：14% 令和8年度：18% 令和9年度：22% 令和10年度：26% 令和11年度：30%)・令和6年度における特定保健指導の実施率を10%にする。								
保健指導宣伝	1,8	既存	健康管理事業推進委員会	一部の事業所	男女	18～74	基準該当者	3	ス			シ		100	-	-	-	-	・保健事業全般についての説明、健診結果報告をしたうえで、課題等について推進委員の方と意見交換を行い、今後の保健事業を実施に役立てる。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
														・保健事業を効果的かつ効率的に実施するため、現状分析を踏まえ事業計画の策定の中心的役割を果たす目的で設置。 ・推進委員6名と事務局で保健事業の説明、結果報告、課題等について協議する。	・保健事業を効果的かつ効率的に実施するため、現状分析を踏まえ事業計画の策定の中心的役割を果たす目的で設置。 ・推進委員6名と事務局で保健事業の説明、結果報告、課題等について協議する。	・保健事業を効果的かつ効率的に実施するため、現状分析を踏まえ事業計画の策定の中心的役割を果たす目的で設置。 ・推進委員6名と事務局で保健事業の説明、結果報告、課題等について協議する。	・保健事業を効果的かつ効率的に実施するため、現状分析を踏まえ事業計画の策定の中心的役割を果たす目的で設置。 ・推進委員6名と事務局で保健事業の説明、結果報告、課題等について協議する。	・保健事業を効果的かつ効率的に実施するため、現状分析を踏まえ事業計画の策定の中心的役割を果たす目的で設置。 ・推進委員6名と事務局で保健事業の説明、結果報告、課題等について協議する。		
	2	既存	医療費通知発行	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス			シ		9,440	-	-	-	-	・対象者へ医療費を知らせることで、実際にかかった医療費の把握や不正請求等のチェックをしてもらう。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
実施率(【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)・年1回、3月に実施する。												達成率(【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)・様々なご意見、ご要望のうち、実施・改良できるものへの対応。								
送付率(【実績値】80% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)・年4回、対象者全員に発送する。												確認率(【実績値】80% 【目標値】令和6年度：80% 令和7年度：80% 令和8年度：80% 令和9年度：80% 令和10年度：80% 令和11年度：80%)・医療費の状況を組合員の方が確認する。								
												392								

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度		
アウトプット指標												アウトカム指標								
2,7	既存	ジェネリック医薬品軽減額通知の発行	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	-	シ	-	・ジェネリック医薬品の使用促進。 ・ジェネリック医薬品軽減額通知の発行(年2回)。	・ジェネリック医薬品の使用促進。 ・ジェネリック医薬品軽減額通知の発行(年2回)。	・ジェネリック医薬品の使用促進。 ・ジェネリック医薬品軽減額通知の発行(年2回)。	・ジェネリック医薬品の使用促進。 ・ジェネリック医薬品軽減額通知の発行(年2回)。	・ジェネリック医薬品の使用促進。 ・ジェネリック医薬品軽減額通知の発行(年2回)。	・ジェネリック医薬品の使用促進。 ・ジェネリック医薬品軽減額通知の発行(年2回)。	・ジェネリック医薬品使用率の向上(50%以上)	・医科、歯科でのジェネリック医薬品の使用率が低い ・一部の方にジェネリック医薬品使用への抵抗感がある ・未成年が単独で受診した際に、後発医薬品を使用する申し出ができていない可能性が高い	
発送率(【実績値】40%【目標値】令和6年度:100% 令和7年度:100% 令和8年度:100% 令和9年度:100% 令和10年度:100% 令和11年度:100%)・対象者全員に通知する。												利用率(【実績値】40%【目標値】令和6年度:50% 令和7年度:50% 令和8年度:50% 令和9年度:50% 令和10年度:50% 令和11年度:50%)・ジェネリック医薬品の使用率の向上(50%以上)								
2,4	新規	生活習慣病重症化予防	全て	男女	18～74	基準該当者	1	イ	-	シ	-	・受診勧奨該当者に受診勧奨通知を送付することにより、未受診者を受診する方向へ導く。	・受診勧奨該当者に受診勧奨通知を送付することにより、未受診者を受診する方向へ導く。	・受診勧奨該当者に受診勧奨通知を送付することにより、未受診者を受診する方向へ導く。	・受診勧奨該当者に受診勧奨通知を送付することにより、未受診者を受診する方向へ導く。	・受診勧奨該当者に受診勧奨通知を送付することにより、未受診者を受診する方向へ導く。	・受診勧奨該当者に受診勧奨通知を送付することにより、未受診者を受診する方向へ導く。	・受診勧奨該当者に受診勧奨通知を送付することにより、未受診者を受診へ導く。 ・受診勧奨通知者の追跡調査を行う。	・加齢に伴う疾病発症、重症化による医療費の増加 ・特に被保険者の生活習慣病患者と重症化の増加 ・医療機関受診中でもコントロール不良者が一定数いる。 ・医療機関受診につながっていない者も一定数いる。	
発送率(【実績値】15%【目標値】令和6年度:90% 令和7年度:90% 令和8年度:90% 令和9年度:90% 令和10年度:90% 令和11年度:90%)・対象者全員に通知する。												受診率(【実績値】15%【目標値】令和6年度:20% 令和7年度:20% 令和8年度:20% 令和9年度:20% 令和10年度:20% 令和11年度:20%)・通知後の未受診者の方の受診率の向上(令和5年度実績)								
2,3	既存	健診未受診者通知の発送	全て	男女	20～73	基準該当者	1	エ,ケ	-	シ	-	・直近の3年間で1度も健診を受診していない方へ受診を促す案内を発送。	・直近の3年間で1度も健診を受診していない方へ受診を促す案内を発送。	・直近の3年間で1度も健診を受診していない方へ受診を促す案内を発送。	・直近の3年間で1度も健診を受診していない方へ受診を促す案内を発送。	・直近の3年間で1度も健診を受診していない方へ受診を促す案内を発送。	・直近の3年間で1度も健診を受診していない方へ受診を促す案内を発送。	健診受診率の向上を図る。	・被扶養者の特定健診受診率が低い。 ・特定保健指導を受ける方が少ない。 ・特定保健指導終了率が低い。	
通知率(【実績値】100%【目標値】令和6年度:90% 令和7年度:90% 令和8年度:90% 令和9年度:90% 令和10年度:90% 令和11年度:90%)・全対象者へ通知する。												実施率(【実績値】10%【目標値】令和6年度:50% 令和7年度:50% 令和8年度:50% 令和9年度:50% 令和10年度:50% 令和11年度:50%)・通知後の実施率の向上。								
疾病予防	2,3	既存	簡易生活習慣病健診	全て	男女	18～34	基準該当者	1	オ	-	カ	-	・疾病の早期発見のために実施。 ・35歳未満の組合員に対して健診受診機会を提供。	・疾病の早期発見のために実施。 ・35歳未満の組合員に対して健診受診機会を提供。	・疾病の早期発見のために実施。 ・35歳未満の組合員に対して健診受診機会を提供。	・疾病の早期発見のために実施。 ・35歳未満の組合員に対して健診受診機会を提供。	・疾病の早期発見のために実施。 ・35歳未満の組合員に対して健診受診機会を提供。	・疾病の早期発見のために実施。 ・35歳未満の組合員に対して健診受診機会を提供。	・受診率の向上。(特に被扶養者)	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
	発送率(【実績値】70%【目標値】令和6年度:90% 令和7年度:90% 令和8年度:90% 令和9年度:90% 令和10年度:90% 令和11年度:90%)・対象者の方全員に健診実施案内を送付する。												受診率(【実績値】70%【目標値】令和6年度:70% 令和7年度:70% 令和8年度:70% 令和9年度:70% 令和10年度:70% 令和11年度:70%)・受診率の向上。							
	2,3	既存(法定)	生活習慣病健診	全て	男女	35～74	基準該当者	1	ウ,オ,コ	-	カ	-	・特定健康診査を含めた受診率の向上。 ・特定健康診査指定項目を満たした健診受診機会の提供。	・特定健康診査を含めた受診率の向上。 ・特定健康診査指定項目を満たした健診受診機会の提供。	・特定健康診査を含めた受診率の向上。 ・特定健康診査指定項目を満たした健診受診機会の提供。	・特定健康診査を含めた受診率の向上。 ・特定健康診査指定項目を満たした健診受診機会の提供。	・特定健康診査を含めた受診率の向上。 ・特定健康診査指定項目を満たした健診受診機会の提供。	・特定健康診査を含めた受診率の向上。 ・特定健康診査指定項目を満たした健診受診機会の提供。	・特定健康診査を含めた受診率の向上。 ・特定健康診査指定項目を満たした健診受診機会の提供。	・受診率の向上。 ・被扶養者の特定健診受診率が低い。 ・特定保健指導を受ける方が少ない。 ・特定保健指導終了率が低い。
	申込率(【実績値】70%【目標値】令和6年度:70% 令和7年度:70% 令和8年度:70% 令和9年度:70% 令和10年度:70% 令和11年度:70%)・対象者の方からの申込率の向上。												受診率(【実績値】70%【目標値】令和6年度:70% 令和7年度:70% 令和8年度:70% 令和9年度:70% 令和10年度:70% 令和11年度:70%)・受診率の向上							
2,3	既存(法定)	人間ドック	全て	男女	35～74	基準該当者	1	ウ,オ,コ	-	カ	-	・特定健康診査を含めた受診率の向上。 ・特定健康診査指定項目を満たした健診受診機会の提供。	・特定健康診査を含めた受診率の向上。 ・特定健康診査指定項目を満たした健診受診機会の提供。	・特定健康診査を含めた受診率の向上。 ・特定健康診査指定項目を満たした健診受診機会の提供。	・特定健康診査を含めた受診率の向上。 ・特定健康診査指定項目を満たした健診受診機会の提供。	・特定健康診査を含めた受診率の向上。 ・特定健康診査指定項目を満たした健診受診機会の提供。	・特定健康診査を含めた受診率の向上。 ・特定健康診査指定項目を満たした健診受診機会の提供。	・特定健康診査を含めた受診率の向上。 ・特定健康診査指定項目を満たした健診受診機会の提供。	・受診率の向上 ・被扶養者の特定健診受診率が低い。 ・特定保健指導を受ける方が少ない。 ・特定保健指導終了率が低い。	
申込率(【実績値】10%【目標値】令和6年度:10% 令和7年度:10% 令和8年度:10% 令和9年度:10% 令和10年度:10% 令和11年度:10%)・申込率の向上。												受診率(【実績値】10%【目標値】令和6年度:10% 令和7年度:10% 令和8年度:10% 令和9年度:10% 令和10年度:10% 令和11年度:10%)・受診率の向上。								
2,3	既存(法定)	婦人生活習慣病健診	全て	女性	35～74	基準該当者	1	ウ,オ,コ	-	カ	-	・女性向けの健診として、生活習慣病健診に乳がんと子宮がん検査を追加した健診として実施。 ・特定健康診査指定項目を満たした健診受診機会の提供。	・女性向けの健診として、生活習慣病健診に乳がんと子宮がん検査を追加した健診として実施。 ・特定健康診査指定項目を満たした健診受診機会の提供。	・女性向けの健診として、生活習慣病健診に乳がんと子宮がん検査を追加した健診として実施。 ・特定健康診査指定項目を満たした健診受診機会の提供。	・女性向けの健診として、生活習慣病健診に乳がんと子宮がん検査を追加した健診として実施。 ・特定健康診査指定項目を満たした健診受診機会の提供。	・女性向けの健診として、生活習慣病健診に乳がんと子宮がん検査を追加した健診として実施。 ・特定健康診査指定項目を満たした健診受診機会の提供。	・女性向けの健診として、生活習慣病健診に乳がんと子宮がん検査を追加した健診として実施。 ・特定健康診査指定項目を満たした健診受診機会の提供。	・女性向けの健診として、生活習慣病健診に乳がんと子宮がん検査を追加した健診として実施。 ・特定健康診査指定項目を満たした健診受診機会の提供。	・受診率の向上。 ・被扶養者の特定健診受診率が低い。 ・特定保健指導を受ける方が少ない。 ・特定保健指導終了率が低い。	
発送率(【実績値】60%【目標値】令和6年度:90% 令和7年度:90% 令和8年度:90% 令和9年度:90% 令和10年度:90% 令和11年度:90%)・対象者全員に健診実施案内を発送する。												受診率(【実績値】60%【目標値】令和6年度:70% 令和7年度:70% 令和8年度:70% 令和9年度:70% 令和10年度:70% 令和11年度:70%)・受診率の向上。								
												1,374								

